



10月1日は「福祉用具の日」

「福祉用具の日」推進協議会
出展社プレゼンテーション

**軽度者の積極的な福祉用具
活用で重度化予防を！**



2016年10月13日(木)

「福祉用具の日」推進協議会

「福祉用具の日」推進協議会 構成団体

公益財団法人 テクノエイド協会

一般社団法人 日本作業療法士協会

公益社団法人 日本理学療法士協会

日本福祉用具・生活支援用具協会

一般社団法人 日本福祉用具供給協会

資料出典

本資料は一般社団法人日本福祉用具供給協会が平成27年度に自主事業として実施した「利用している福祉用具の代替手段に関する調査」より抜粋して使用しております。

「利用している福祉用具の代替手段に関する調査」の概要

背景

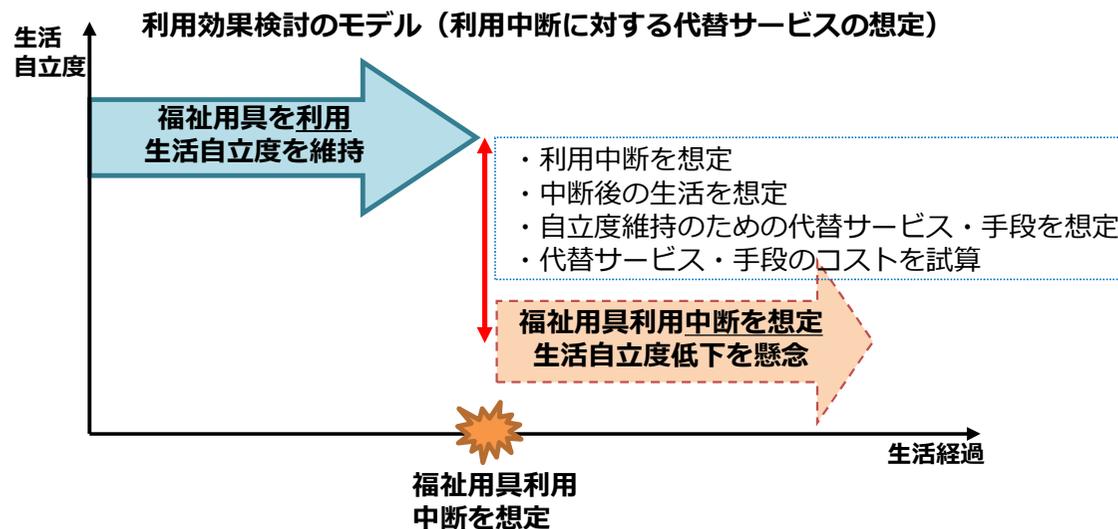
- 財政制度等審議会（2015年4月）において介護保険における軽度者に対する福祉用具貸与・住宅改修の在り方に関する提言では、要支援1から要介護2までの軽度者について、福祉用具・住宅改修サービスを原則自己負担とすべきとの方向が示された。
- 「経済財政運営と改革の基本方針2015」（骨太の方針）では「軽度者に対する生活援助サービス・福祉用具貸与等やその他の給付について、給付の見直しや地域支援事業への移行を含め検討を行う。」と記述された。
⇒介護保険における福祉用具・住宅改修サービスの軽度者への給付は大幅に絞り込まれる方向での議論が進められている。

目的

- 要支援1から要介護2までの利用者の多い福祉用具貸与は車いす（付属品含む）、歩行器、手すり、多点つえ、特殊寝台（付属品含む）の5種目
- 特殊寝台および車いすは利用することによって他の介護費の抑制につながる。歩行器、多点つえおよび手すりは日常生活に欠かせないだけでなく、重度化を防いだり遅らせたりすることで、結果として介護費や医療費を抑制しうるものである。
- 今後の介護保険制度改正の議論は、軽度者の福祉用具の利用効果についての理解を踏まえた議論が進められることが望まれる。
⇒こうした理解を進めるためのデータを提供することを目的として本調査を実施

調査仮説

- 現在、福祉用具を利用して自立した生活を維持している人においては、福祉用具が利用できなくなると生活の自立度が著しく低下する可能性がある。
- それを補うために、福祉用具サービス以外のよりコストの高いサービスを利用することになる。



調査方法

調査対象：全国の福祉用具貸与事業所（100事業所程度）の利用者 計500人程度

※車いす、歩行器、多点つえ、手すり、特殊寝台の5種類の用具から、各事業所に1種類を割り当て

※各事業所に割り当てられた用具の利用者から以下の条件を満たす5名を抽出

条件：要支援1～要介護2、利用期間3か月以上、認知症のある利用者は除く

調査時期：2015年11月～12月

調査方法：①調査協力可能な事業所を募集

②事業所にて対象利用者を選定し、協力依頼

③対象利用者について次の3つの様式を記入

A：週間サービス計画表

B：福祉用具利用の記録（1日分）

C：利用者票（利用者属性、福祉用具の利用状況など）

調査内容

様式	記入者	目的	主な調査項目
A： 週間サービス計画表	福祉用具専門 相談員 (利用者・家族 から聞き取り)	<ul style="list-style-type: none"> ケアプランの週間計画表(第3表)のコピーを参照し、福祉用具利用の多い1日を選定 福祉用具の利用場面を思い出す材料とする 	<ul style="list-style-type: none"> 週間サービス計画表に記載されたケアサービス以外の主な生活行動
B： 福祉用具利用の記録 (1日分)	利用者、家族	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の利用の多い1日について、1日の流れに沿って、福祉用具を利用した場面を想起して記録を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間帯ごと、利用目的別の福祉用具利用状況 上記場面での介護者有無
C： 利用者票	福祉用具専門 相談員 (利用者・家族 から聞き取り)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の属性や福祉用具の利用目的を把握 Bをもとに福祉用具の利用状況を把握 福祉用具がない場合に想定される対応 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者属性（疾患、世帯構成、サービス利用状況等） 身体状況（ADL, 要介護度等） 援助方針、福祉用具利用の目標 利用している福祉用具、利用場面 場面別の福祉用具利用状況 福祉用具がない場合の対応 福祉用具利用前の転倒等の不安

回収状況

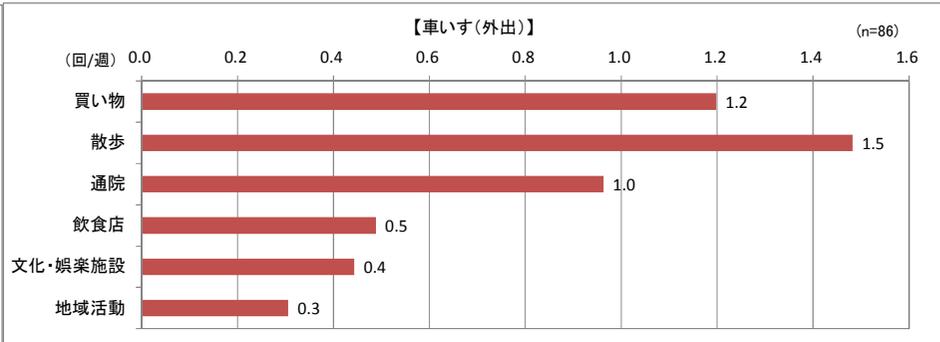
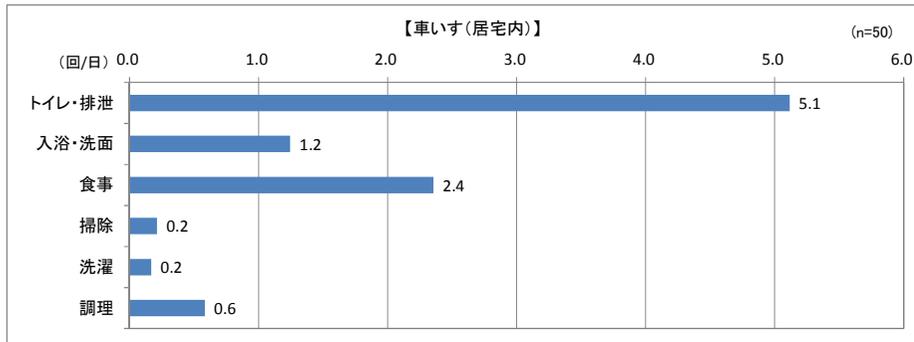
車いす	歩行器	多点つえ	手すり	特殊寝台
91	94	90	100	103

主な調査結果（１） 回答者属性

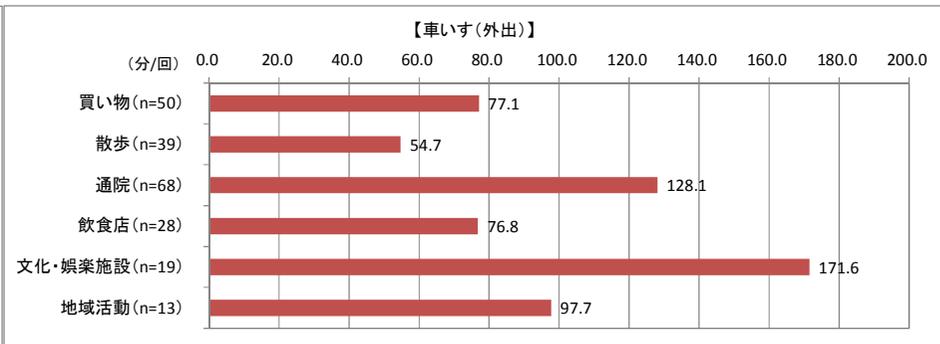
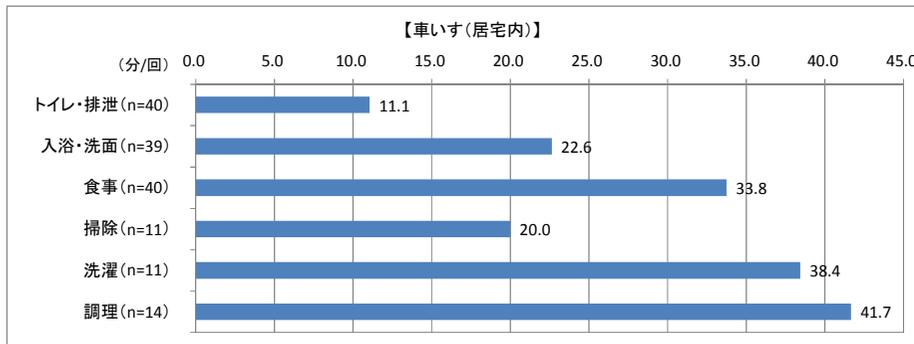
	車いす(n=91)	歩行器(n=94)	多点つえ(n=90)	手すり(n=100)	特殊寝台(n=103)																																																																																																																								
性別・年齢	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59歳以下</td> <td>5 5.5%</td> <td>1 1.1%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>5 5.5%</td> <td>10 11.0%</td> </tr> <tr> <td>70～79歳</td> <td>14 15.4%</td> <td>14 15.4%</td> </tr> <tr> <td>80～89歳</td> <td>7 7.7%</td> <td>18 19.8%</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>5 5.5%</td> <td>7 7.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5 5.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>86 100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	59歳以下	5 5.5%	1 1.1%	60～69歳	5 5.5%	10 11.0%	70～79歳	14 15.4%	14 15.4%	80～89歳	7 7.7%	18 19.8%	90歳以上	5 5.5%	7 7.7%	無回答	5 5.5%		合計	86 100.0%		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59歳以下</td> <td>0 0.0%</td> <td>0 0.0%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>1 1.1%</td> <td>3 3.2%</td> </tr> <tr> <td>70～79歳</td> <td>7 7.4%</td> <td>17 18.1%</td> </tr> <tr> <td>80～89歳</td> <td>16 17.0%</td> <td>36 38.3%</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>3 3.2%</td> <td>7 7.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>4 4.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90 100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	59歳以下	0 0.0%	0 0.0%	60～69歳	1 1.1%	3 3.2%	70～79歳	7 7.4%	17 18.1%	80～89歳	16 17.0%	36 38.3%	90歳以上	3 3.2%	7 7.4%	無回答	4 4.3%		合計	90 100.0%		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59歳以下</td> <td>1 1.1%</td> <td>1 1.1%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>8 8.9%</td> <td>5 5.6%</td> </tr> <tr> <td>70～79歳</td> <td>9 10.0%</td> <td>12 13.3%</td> </tr> <tr> <td>80～89歳</td> <td>9 10.0%</td> <td>25 27.8%</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>2 2.2%</td> <td>12 13.3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>6 6.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>84 100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	59歳以下	1 1.1%	1 1.1%	60～69歳	8 8.9%	5 5.6%	70～79歳	9 10.0%	12 13.3%	80～89歳	9 10.0%	25 27.8%	90歳以上	2 2.2%	12 13.3%	無回答	6 6.7%		合計	84 100.0%		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59歳以下</td> <td>0 0.0%</td> <td>0 0.0%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>3 3.0%</td> <td>4 4.0%</td> </tr> <tr> <td>70～79歳</td> <td>7 7.0%</td> <td>17 17.0%</td> </tr> <tr> <td>80～89歳</td> <td>23 23.0%</td> <td>31 31.0%</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>3 3.0%</td> <td>7 7.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5 5.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95 100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	59歳以下	0 0.0%	0 0.0%	60～69歳	3 3.0%	4 4.0%	70～79歳	7 7.0%	17 17.0%	80～89歳	23 23.0%	31 31.0%	90歳以上	3 3.0%	7 7.0%	無回答	5 5.0%		合計	95 100.0%		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>59歳以下</td> <td>0 0.0%</td> <td>2 1.9%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>6 5.8%</td> <td>4 3.9%</td> </tr> <tr> <td>70～79歳</td> <td>12 11.7%</td> <td>17 16.5%</td> </tr> <tr> <td>80～89歳</td> <td>19 18.4%</td> <td>27 26.2%</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>5 4.9%</td> <td>9 8.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2 1.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>101 100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		男性	女性	59歳以下	0 0.0%	2 1.9%	60～69歳	6 5.8%	4 3.9%	70～79歳	12 11.7%	17 16.5%	80～89歳	19 18.4%	27 26.2%	90歳以上	5 4.9%	9 8.7%	無回答	2 1.9%		合計	101 100.0%	
		男性	女性																																																																																																																										
	59歳以下	5 5.5%	1 1.1%																																																																																																																										
	60～69歳	5 5.5%	10 11.0%																																																																																																																										
	70～79歳	14 15.4%	14 15.4%																																																																																																																										
	80～89歳	7 7.7%	18 19.8%																																																																																																																										
	90歳以上	5 5.5%	7 7.7%																																																																																																																										
	無回答	5 5.5%																																																																																																																											
合計	86 100.0%																																																																																																																												
	男性	女性																																																																																																																											
59歳以下	0 0.0%	0 0.0%																																																																																																																											
60～69歳	1 1.1%	3 3.2%																																																																																																																											
70～79歳	7 7.4%	17 18.1%																																																																																																																											
80～89歳	16 17.0%	36 38.3%																																																																																																																											
90歳以上	3 3.2%	7 7.4%																																																																																																																											
無回答	4 4.3%																																																																																																																												
合計	90 100.0%																																																																																																																												
	男性	女性																																																																																																																											
59歳以下	1 1.1%	1 1.1%																																																																																																																											
60～69歳	8 8.9%	5 5.6%																																																																																																																											
70～79歳	9 10.0%	12 13.3%																																																																																																																											
80～89歳	9 10.0%	25 27.8%																																																																																																																											
90歳以上	2 2.2%	12 13.3%																																																																																																																											
無回答	6 6.7%																																																																																																																												
合計	84 100.0%																																																																																																																												
	男性	女性																																																																																																																											
59歳以下	0 0.0%	0 0.0%																																																																																																																											
60～69歳	3 3.0%	4 4.0%																																																																																																																											
70～79歳	7 7.0%	17 17.0%																																																																																																																											
80～89歳	23 23.0%	31 31.0%																																																																																																																											
90歳以上	3 3.0%	7 7.0%																																																																																																																											
無回答	5 5.0%																																																																																																																												
合計	95 100.0%																																																																																																																												
	男性	女性																																																																																																																											
59歳以下	0 0.0%	2 1.9%																																																																																																																											
60～69歳	6 5.8%	4 3.9%																																																																																																																											
70～79歳	12 11.7%	17 16.5%																																																																																																																											
80～89歳	19 18.4%	27 26.2%																																																																																																																											
90歳以上	5 4.9%	9 8.7%																																																																																																																											
無回答	2 1.9%																																																																																																																												
合計	101 100.0%																																																																																																																												
同居家族	あり：78.2%	あり：65.9%	あり：73.8%	あり：57.9%	あり：77.6%																																																																																																																								
住宅改修	あり：53.9%	あり：41.5%	あり：55.7%	あり：51.6%	あり：54.1%																																																																																																																								
利用している介護サービス	通所介護：47.4% 訪問介護：41.0% 通所リハ：24.4%	通所介護：35.1% 通所リハ：33.0% 訪問介護：27.7%	通所介護：35.2% 通所リハ：35.2% 訪問介護：23.9%	通所介護：33.7% 訪問介護：29.5% 通所リハ：24.2%	通所介護：40.8% 訪問介護：33.7% 通所リハ：31.6%																																																																																																																								
要介護度	<p>【 車いす(n=91) 】</p> <p>■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護1 ■ 無回答</p>	<p>【 歩行器(n=94) 】</p> <p>■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護1 ■ 無回答</p>	<p>【 多点つえ(n=90) 】</p> <p>■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護1 ■ 無回答</p>	<p>【 手すり(n=100) 】</p> <p>■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護1 ■ 無回答</p>	<p>【 特殊寝台(n=103) 】</p> <p>■ 要支援1 ■ 要支援2 ■ 要介護1 ■ 要介護2 ■ 要介護1 ■ 無回答</p>																																																																																																																								

主な調査結果（２） 生活場面における福祉用具利用状況 車いす

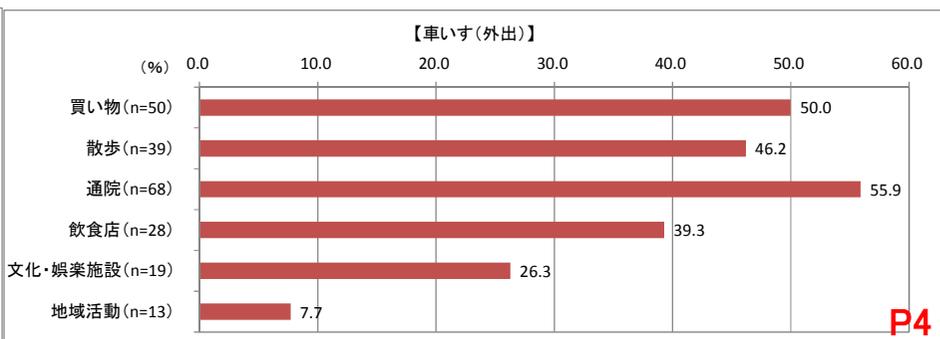
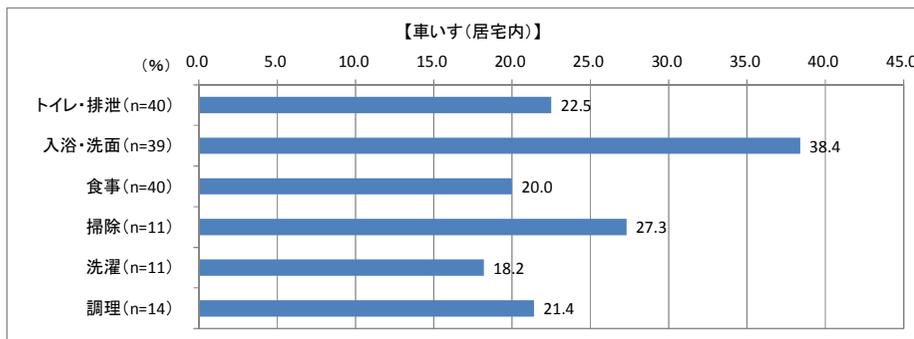
利用頻度



1回あたり利用時間

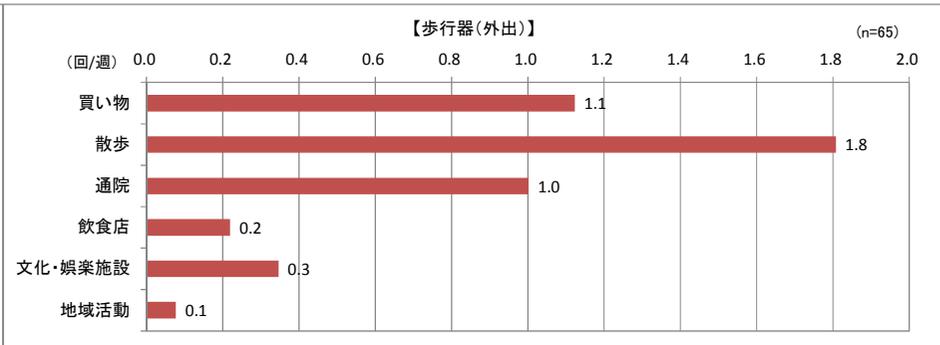
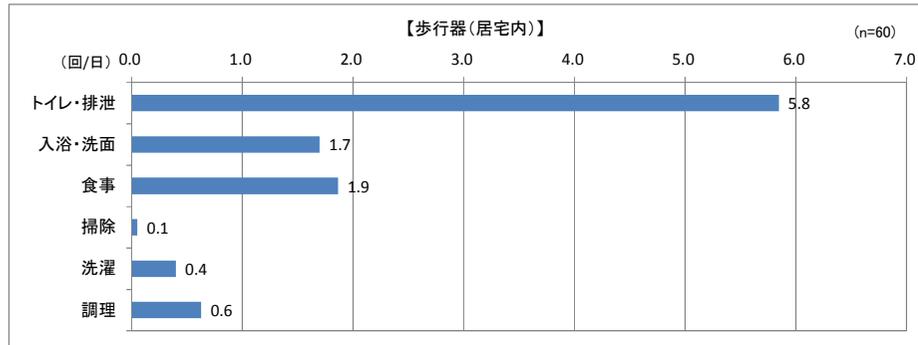


介助者ありの割合

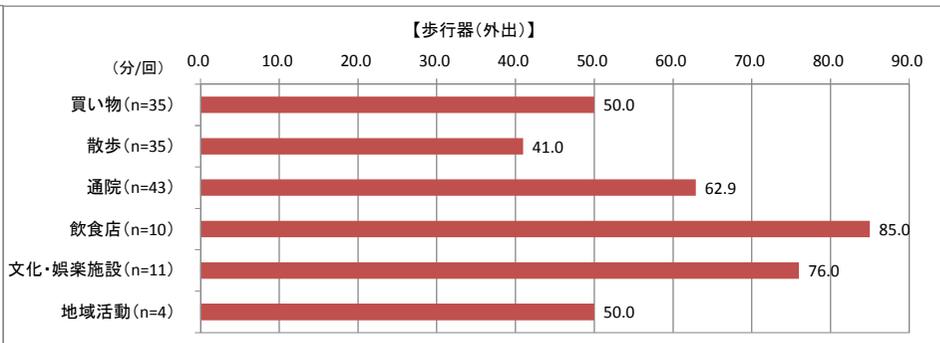
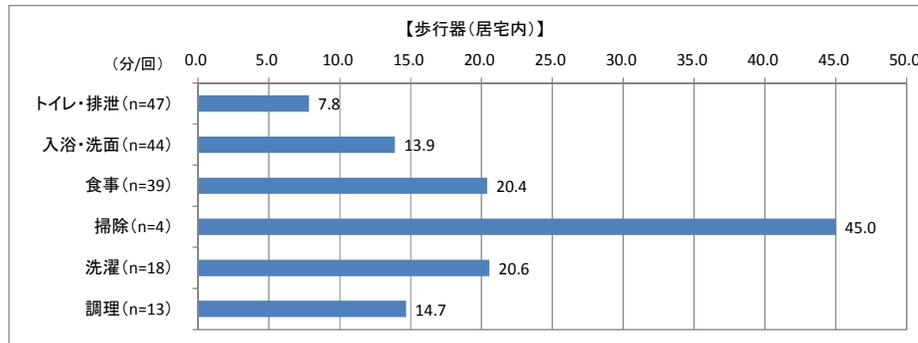


主な調査結果（２） 生活場面における福祉用具利用状況 歩行器

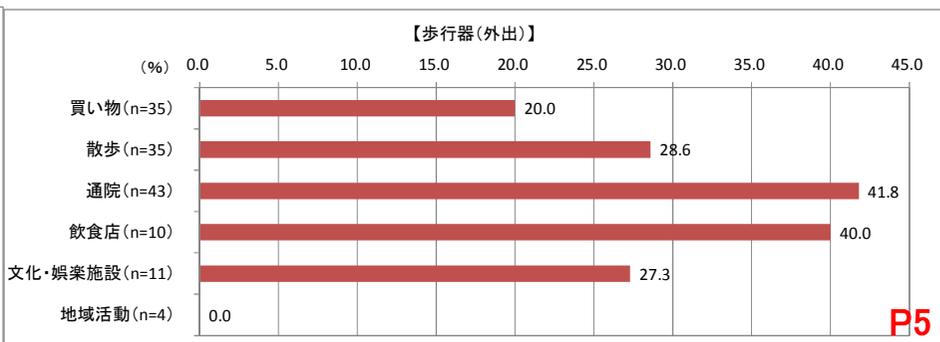
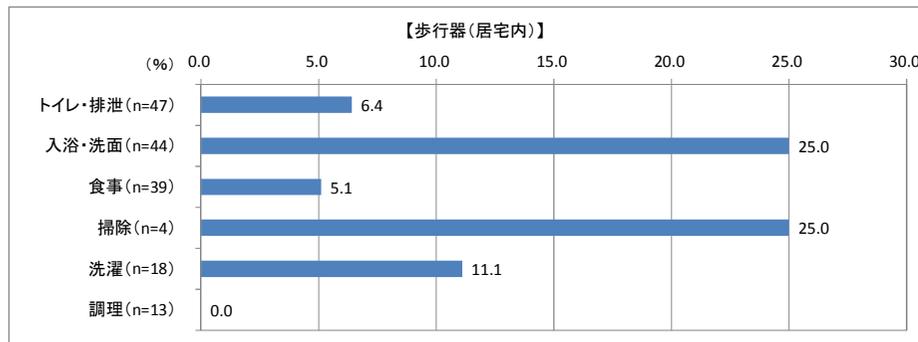
利用頻度



1回あたり利用時間

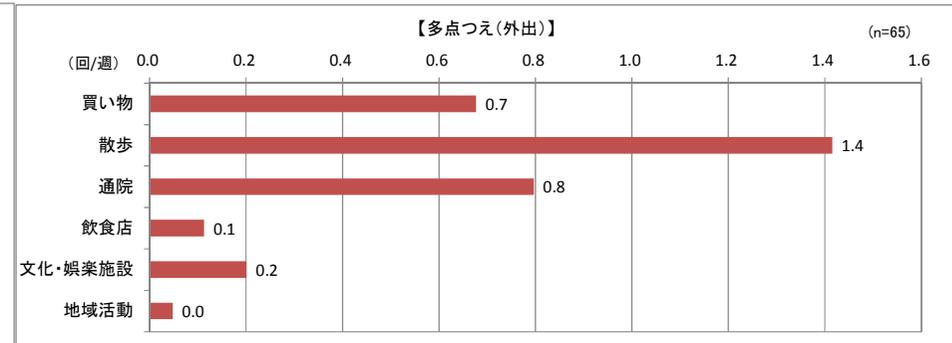
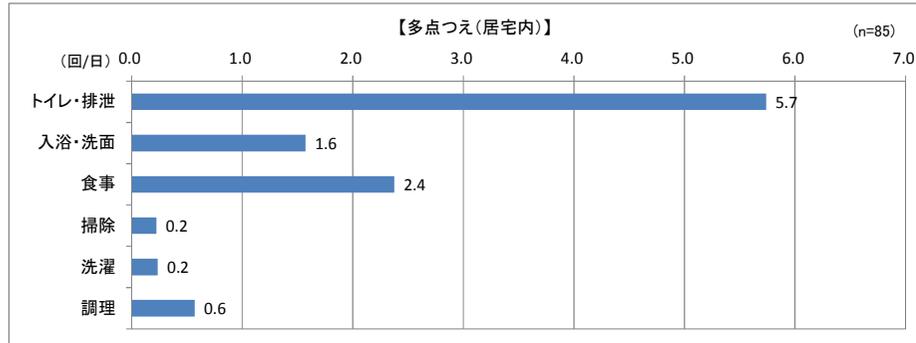


介助者ありの割合

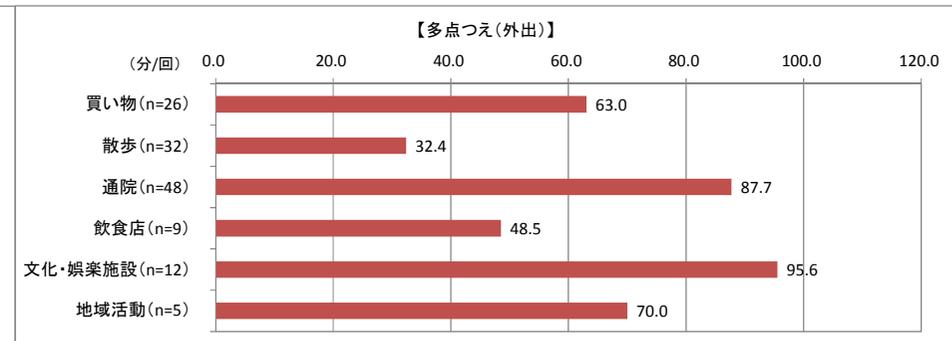
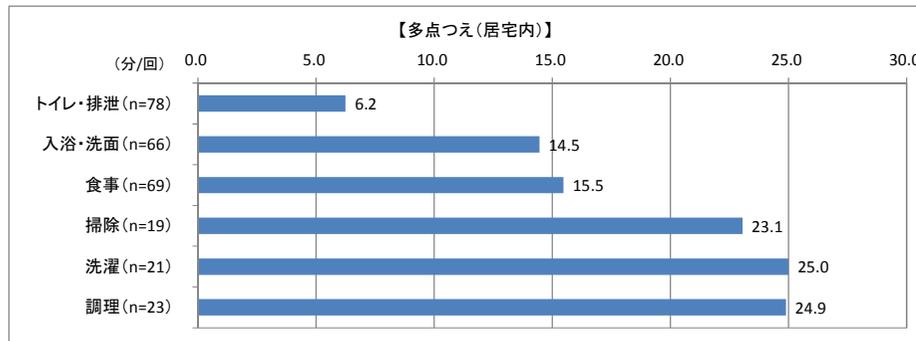


主な調査結果（２） 生活場面における福祉用具利用状況 多点つえ

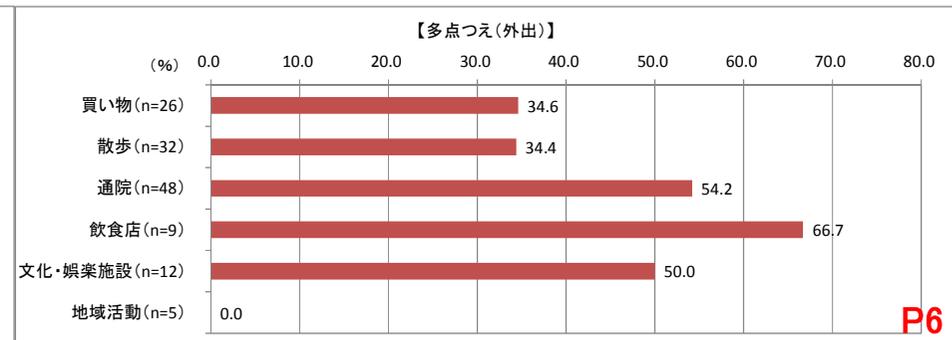
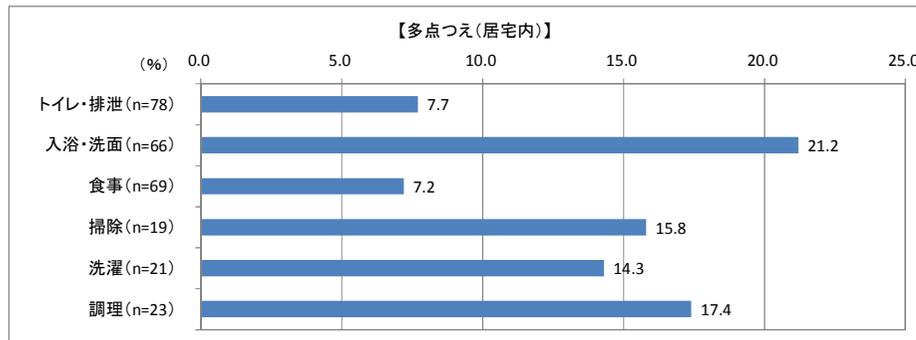
利用頻度



1回あたり利用時間

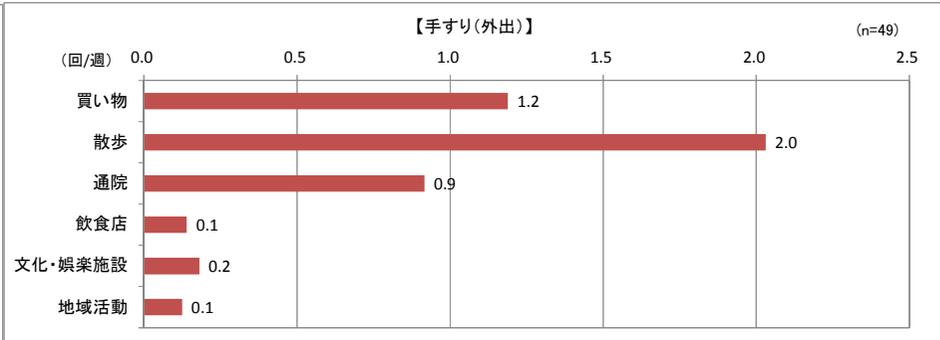
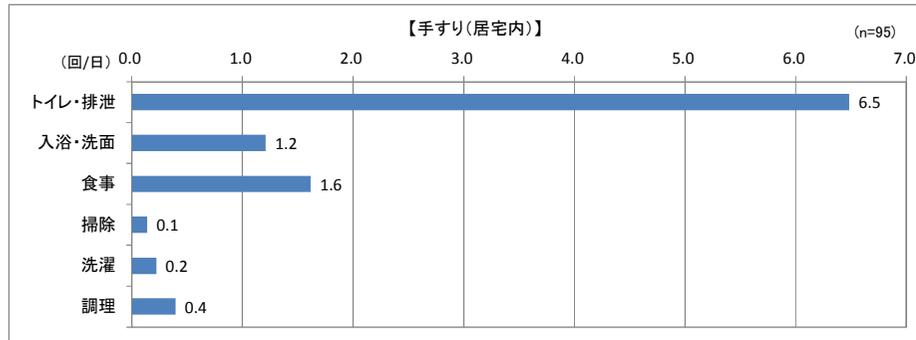


介助者ありの割合

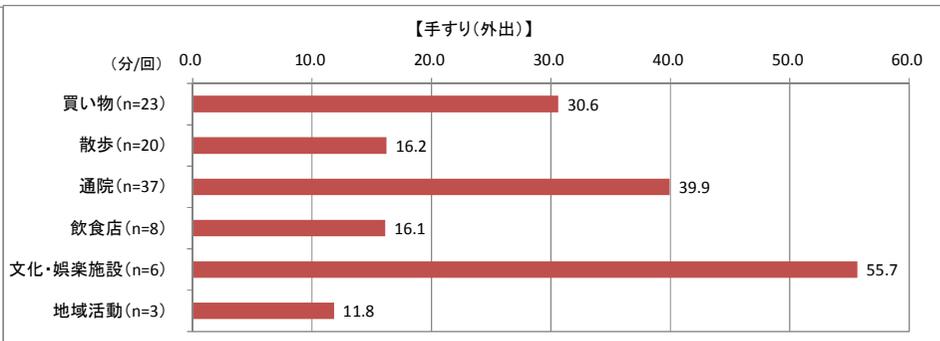
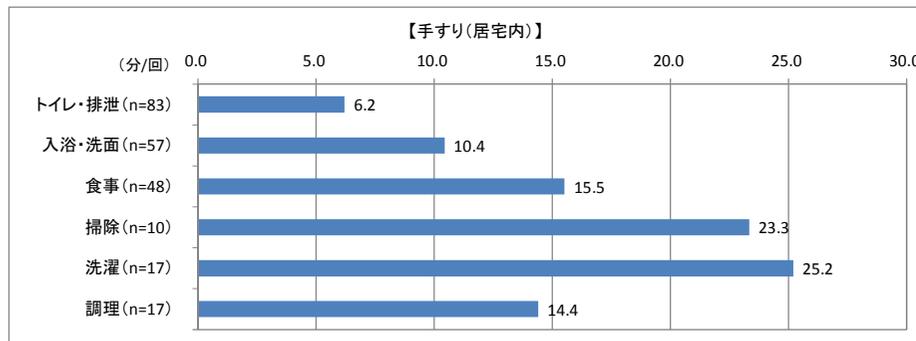


主な調査結果（２） 生活場面における福祉用具利用状況 手すり

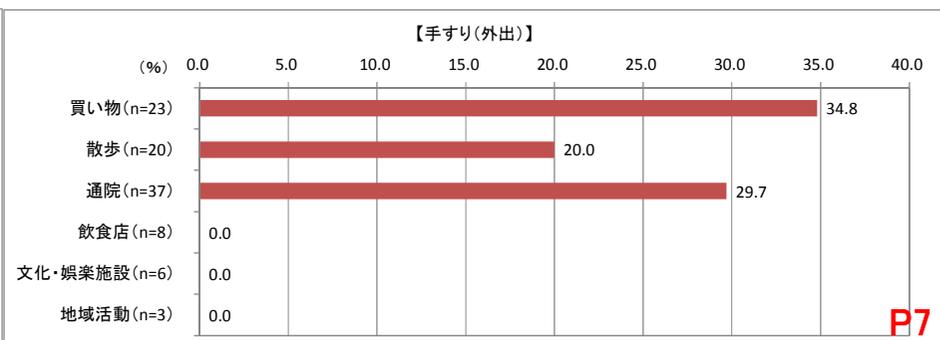
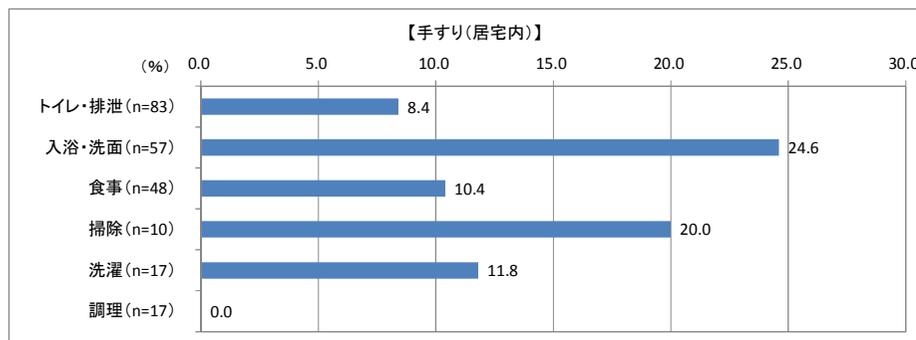
利用頻度



1回あたり利用時間

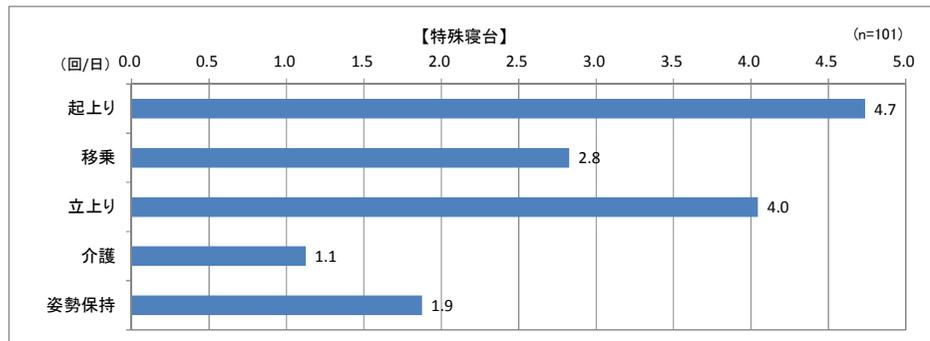


介助者ありの割合

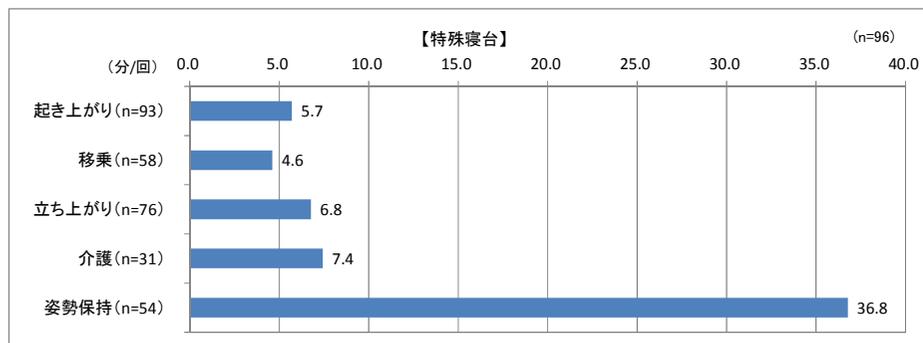


主な調査結果（２） 生活場面における福祉用具利用状況 特殊寝台

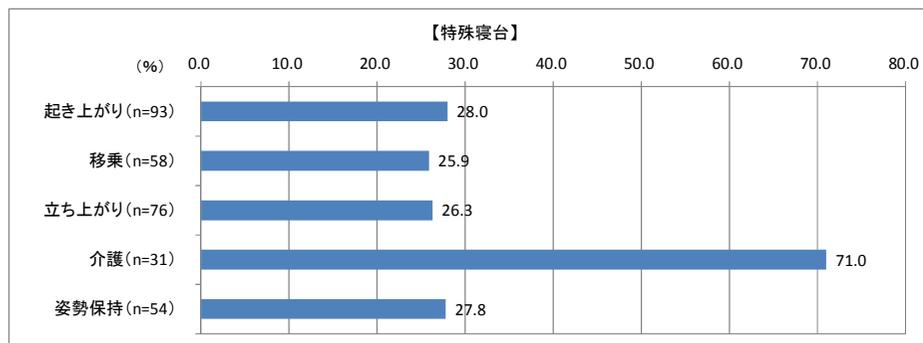
利用頻度



1回あたり利用時間

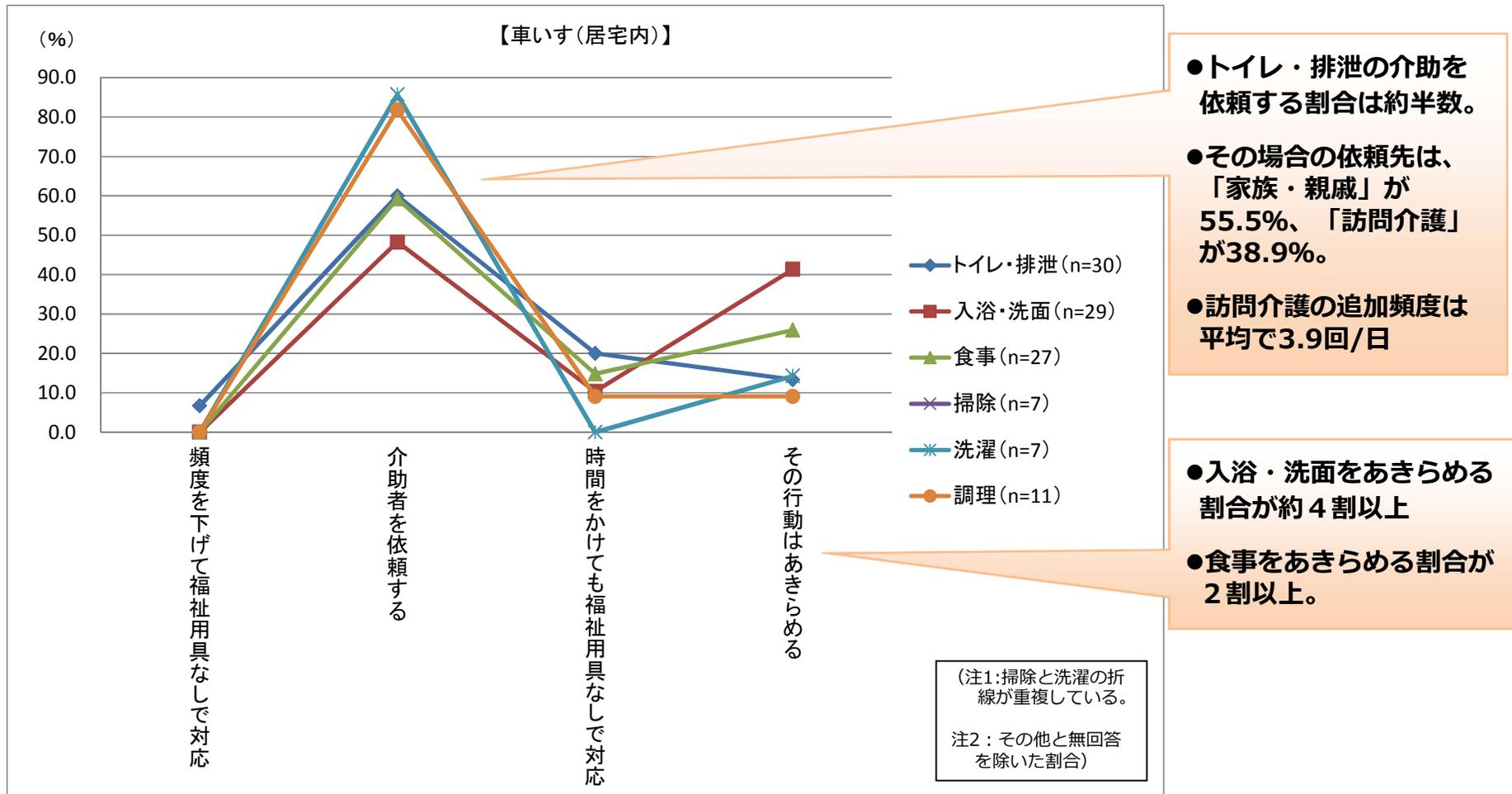


介助者ありの割合



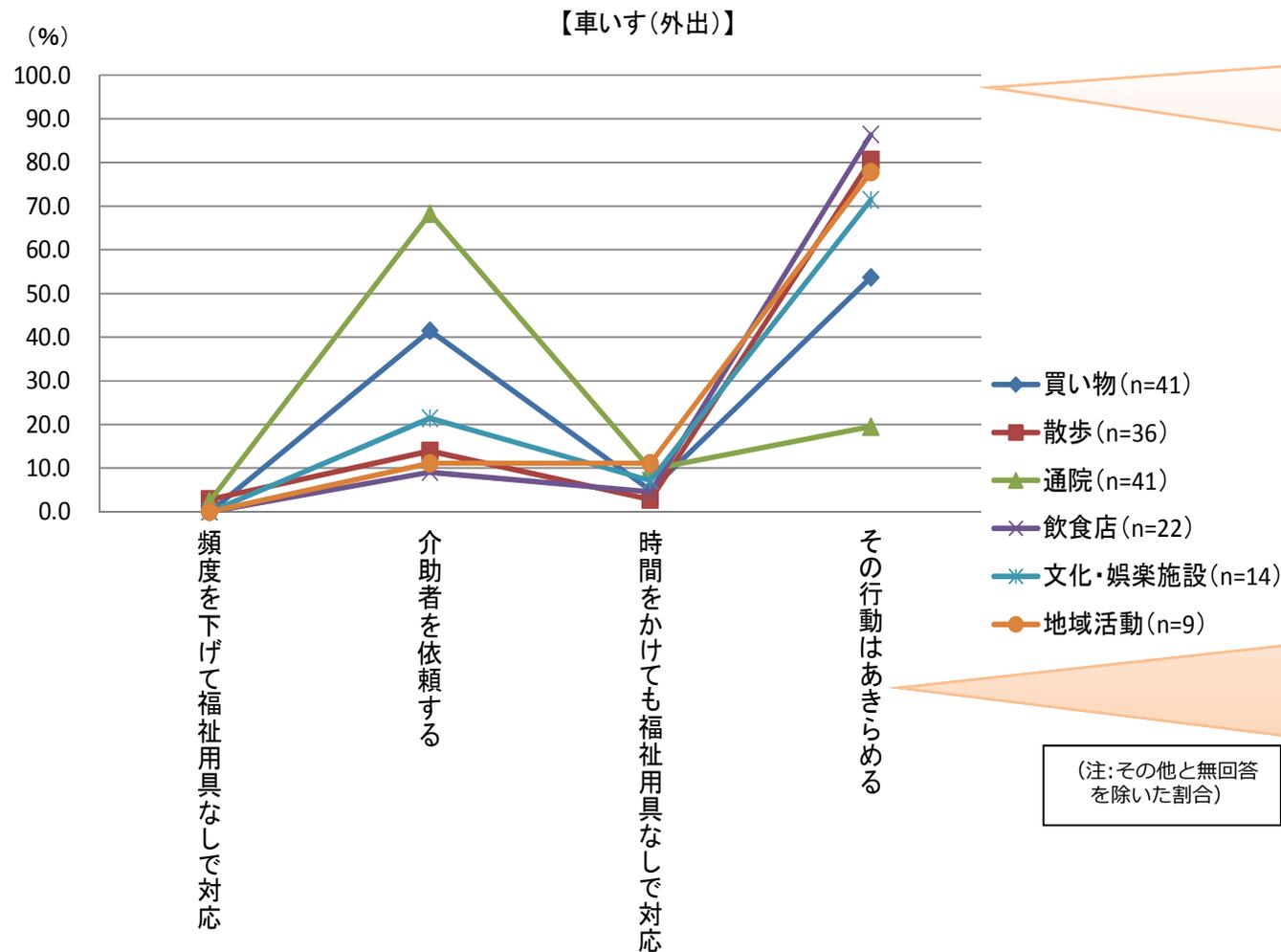
主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 車いす（居宅内）

- ◆居宅内での生活場面において車いすが利用できなくなったら介助者を依頼する割合は、掃除、洗濯、調理では8割以上、トイレ・排泄、食事でも6割近くと高い。
- ◆介助者を依頼する場合には、トイレ・排泄と食事は家族に、入浴・洗面、掃除、洗濯、調理等は訪問介護を利用する割合が高い。
- ◆入浴・洗面についてはあきらめるという回答が4割以上ある。



主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 車いす（外出）

- ◆外出については、全体として「その行動はあきらめる」という回答が多い。特に、散歩、飲食店、文化・娯楽施設、地域活動などでは7割を超えており、生活の楽しみを広げる活動が制約されることが示唆される。
- ◆介助者を依頼する割合が高かったのは、通院、買い物であり、これらの行為は生活する上で必要不可欠であるため、家族・親戚や訪問介護サービスを利用することにより、対応するという回答が多いと考えられる。



●通院は7割近く、買い物も約4割が、介助者を依頼すると回答。

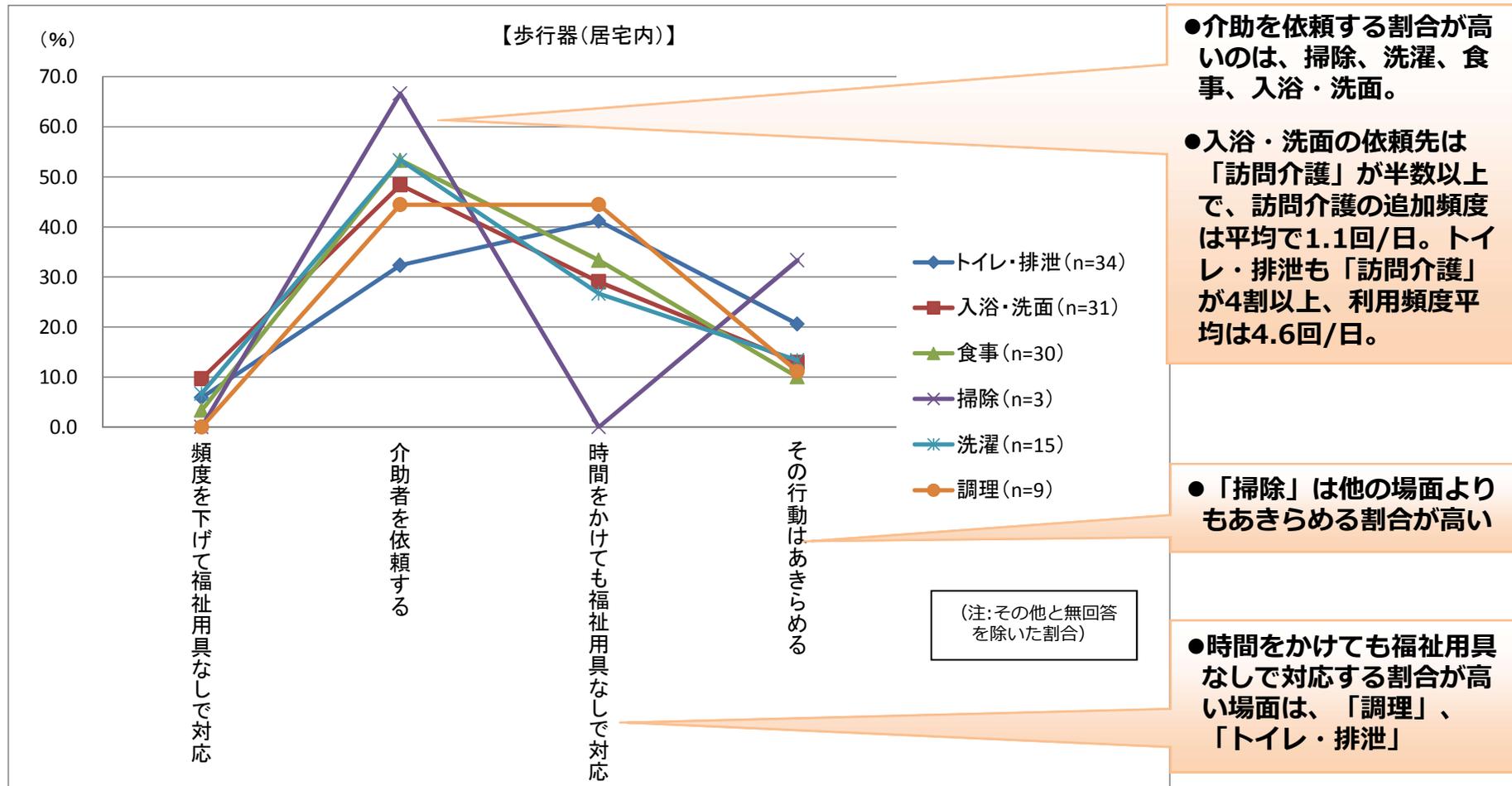
●依頼先は、通院の場合家族が約50%、買い物は訪問介護が約50%。

●通院以外の外出については、「あきらめる」という回答が最も多い。

●特に、散歩、飲食店、文化娯楽施設など、必須ではないが生活の楽しみにつながる行動が抑制される可能性がある。

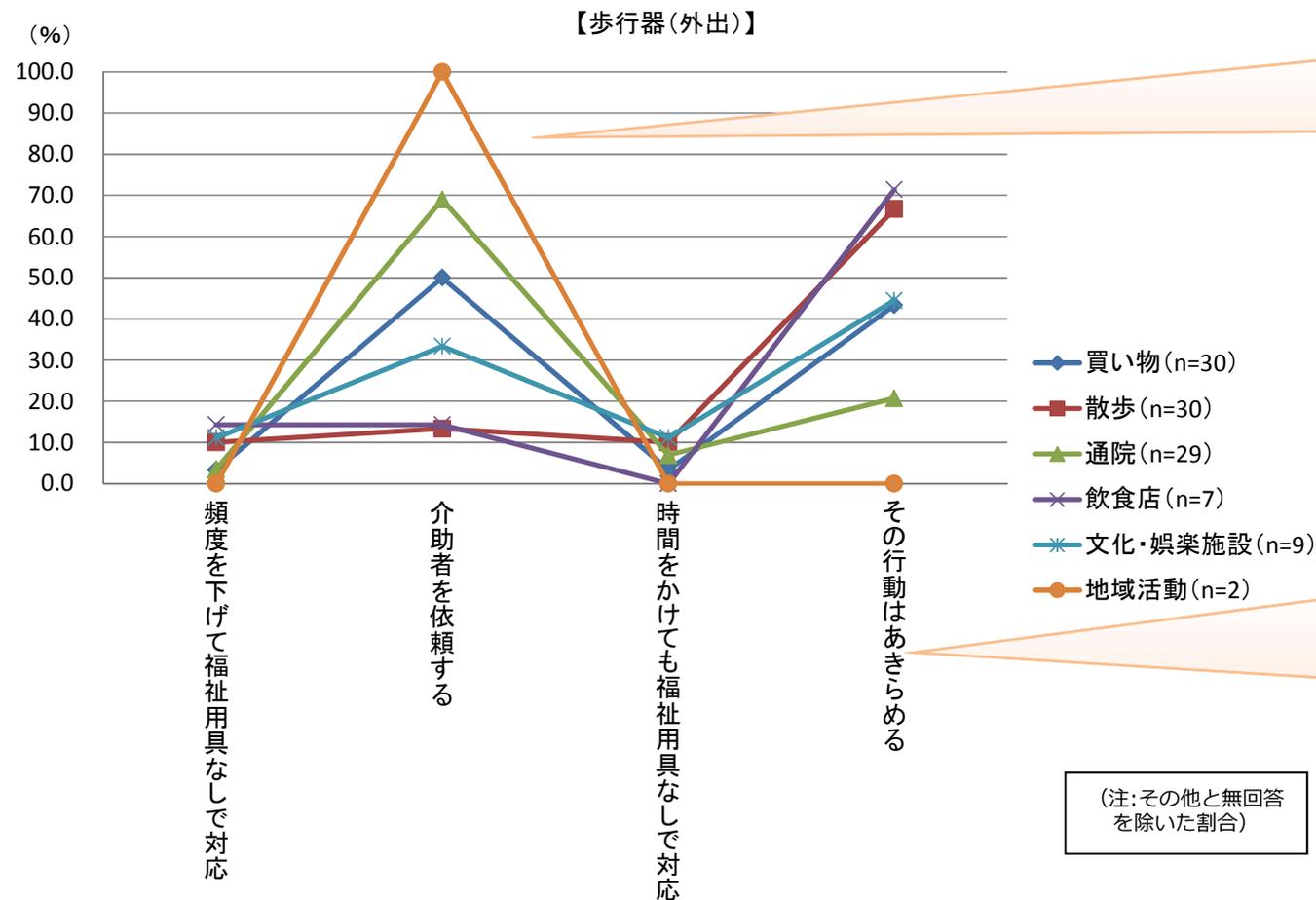
主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 歩行器（居宅内）

- ◆居宅内での生活場面において歩行器が利用できなくなったら、介助者を依頼する割合が高いのは、掃除、洗濯、食事、入浴・洗面、調理。
- ◆トイレ・排泄、調理に関しては「時間をかけても福祉用具なしで対応」の割合が大きい。
- ◆入浴・洗面については、介助者を依頼する場合、家族・親戚と訪問介護が半数ずつであった。
- ◆食事は、介助者を家族・親戚に依頼するが半数以上、訪問介護を依頼するのは約3割。



主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 歩行器（外出）

- ◆歩行器が利用できなくなったら、「介助者を依頼する」と「その行動はあきらめる」という回答に二分されている。
- ◆「その行動はあきらめる」という回答が多いのは、「飲食店」（約7割）「散歩」（7割弱）「文化・娯楽施設」（5割弱）となっており、生活の楽しみを広げる活動が制約されることが懸念される。
- ◆介助者を依頼する割合が高かったのは、通院、買い物であり、これらは生活する上で必要不可欠であるため、家族・親戚や訪問介護サービスを利用するという回答が多いと考えられる。



●通院と買い物は、介助者を依頼するという回答が多い。

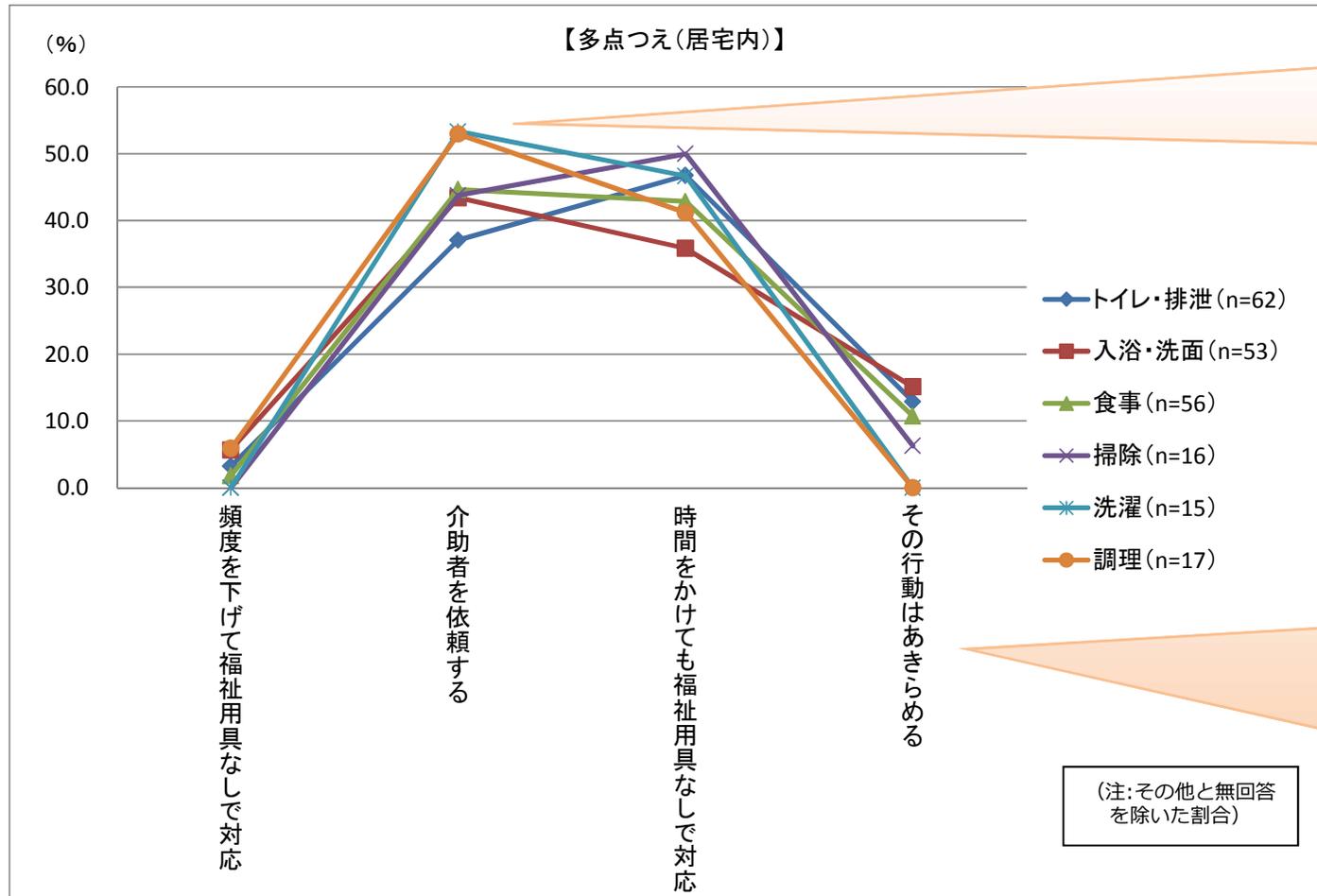
●依頼先は、通院と買い物については家族と訪問介護が拮抗している。

●「あきらめる」という回答が多いのは散歩、飲食店、さらに文化・娯楽施設など。

●必須ではないが生活の楽しみにつながる行動が抑制される可能性がある。

主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 多点つえ（居宅内）

- ◆居宅内での生活場面において多点つえが利用できなくなったら、全体として「介助者を依頼する」と「時間をかけても福祉用具なしで対応」に二分されている。
- ◆洗濯、調理については、介助者を依頼する割合が5割を超えている。
- ◆「その行動はあきらめる」という回答は他の福祉用具利用者よりも少なく、多点つえの利用者の自立度が比較的高いことによると考えられる。



●「トイレ・排泄」以外の生活行動はいずれも4割から5割超が「介助者を依頼する」を選択。

●介護者の依頼先として割合が高いのは家族・親戚。

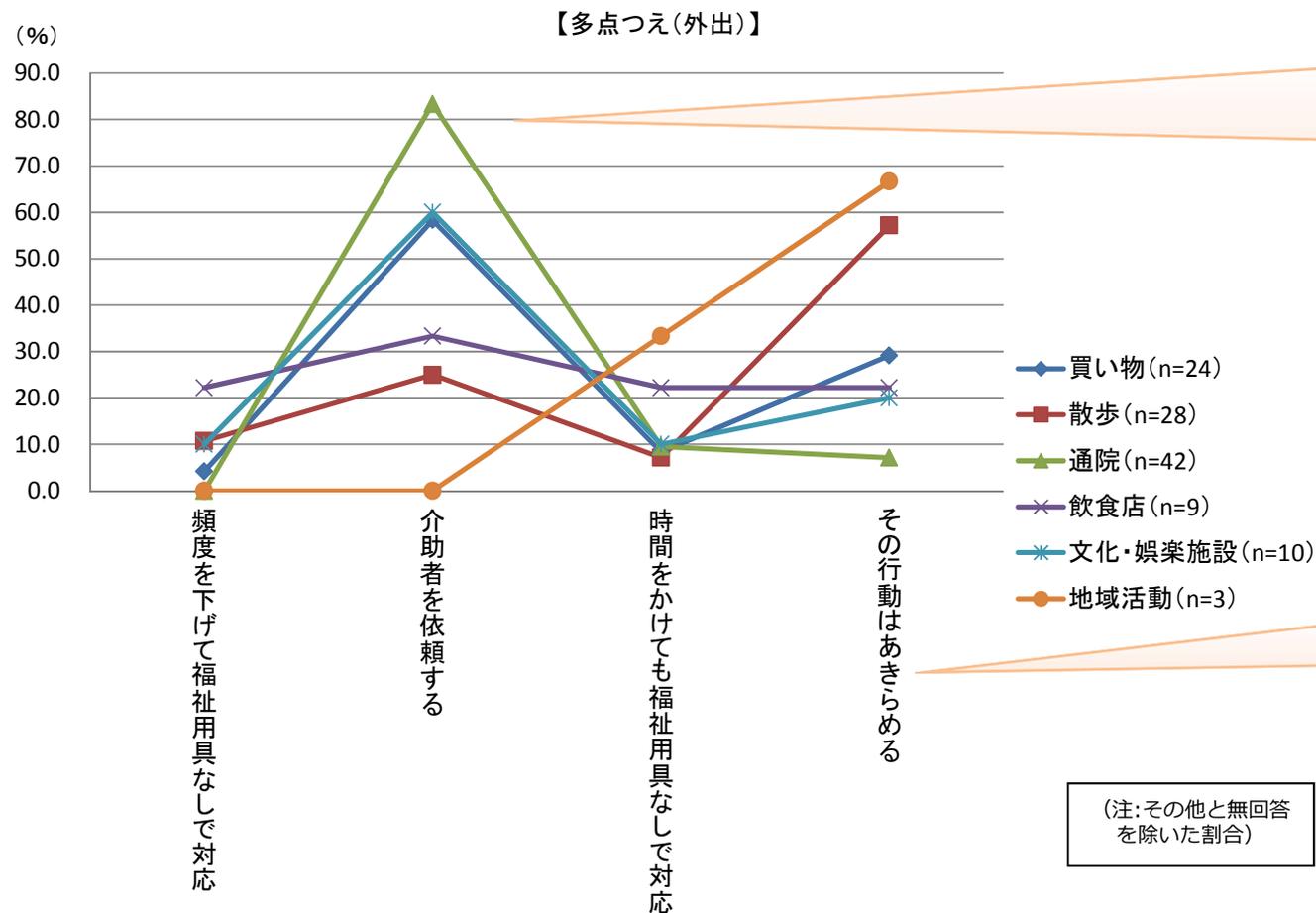
●全体として「時間をかけても福祉用具なしで対応」の割合も、「介助者を依頼する」と同程度。

●掃除、トイレ・排泄に関しては「介助者を依頼」よりも多い。

●全体として「あきらめる」の割合は低い。

主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 多点つえ（外出）

- ◆ 多点つえが利用できなくなったら、外出については、「介助者を依頼する」という回答の割合が高いのは「通院」「文化・娯楽施設」「買い物」で半数を超えている。
- ◆ 一方、散歩、地域活動については「その行動をあきらめる」が半数を超えている。
- ◆ 介助者を依頼する割合が高かった通院、買い物では、介助を依頼するのは家族・親戚が多い。
- ◆ 飲食店については「時間をかけても福祉用具なしで対応」「頻度を下げて福祉用具内で対応」が他の生活行動よりも多い。



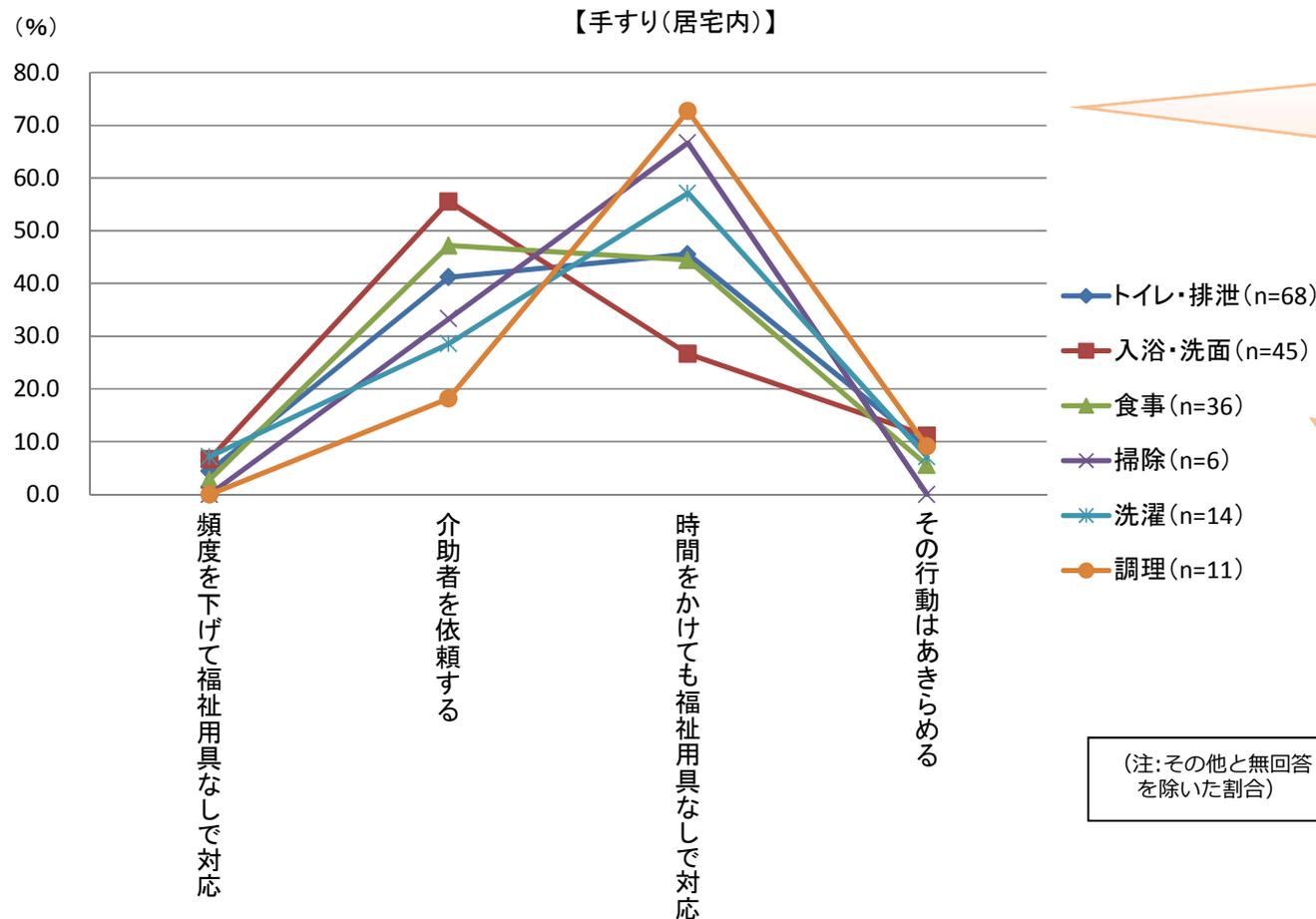
● 通院と買物は、介助者を依頼するという回答が多い。

● 依頼先は、家族・親戚が多く、通院の場合は約7割、買物は約8割。

● 「散歩」「地域活動」については5割以上が「あきらめる」を選択。

主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 手すり（居宅内）

- ◆居宅内での生活場面において手すりが利用できなくなった場合の対応は、場面によって異なっているが、全体として「その行為はあきらめる」と回答する割合が低く、「介助者を依頼する」「時間をかけても福祉用具なしで対応」のいずれかに分かれている。
- ◆「介助者を依頼する」割合のほうが高いのは、「入浴・洗面」「食事」であり、依頼先は家族・親戚が多い。
- ◆「時間をかけても福祉用具なしで対応」の割合のほうが高いのは、「洗濯」「掃除」「調理」といった家事のほか、「トイレ・排泄」であった。



●「入浴・洗面」については、介助を依頼する回答が最も多い。

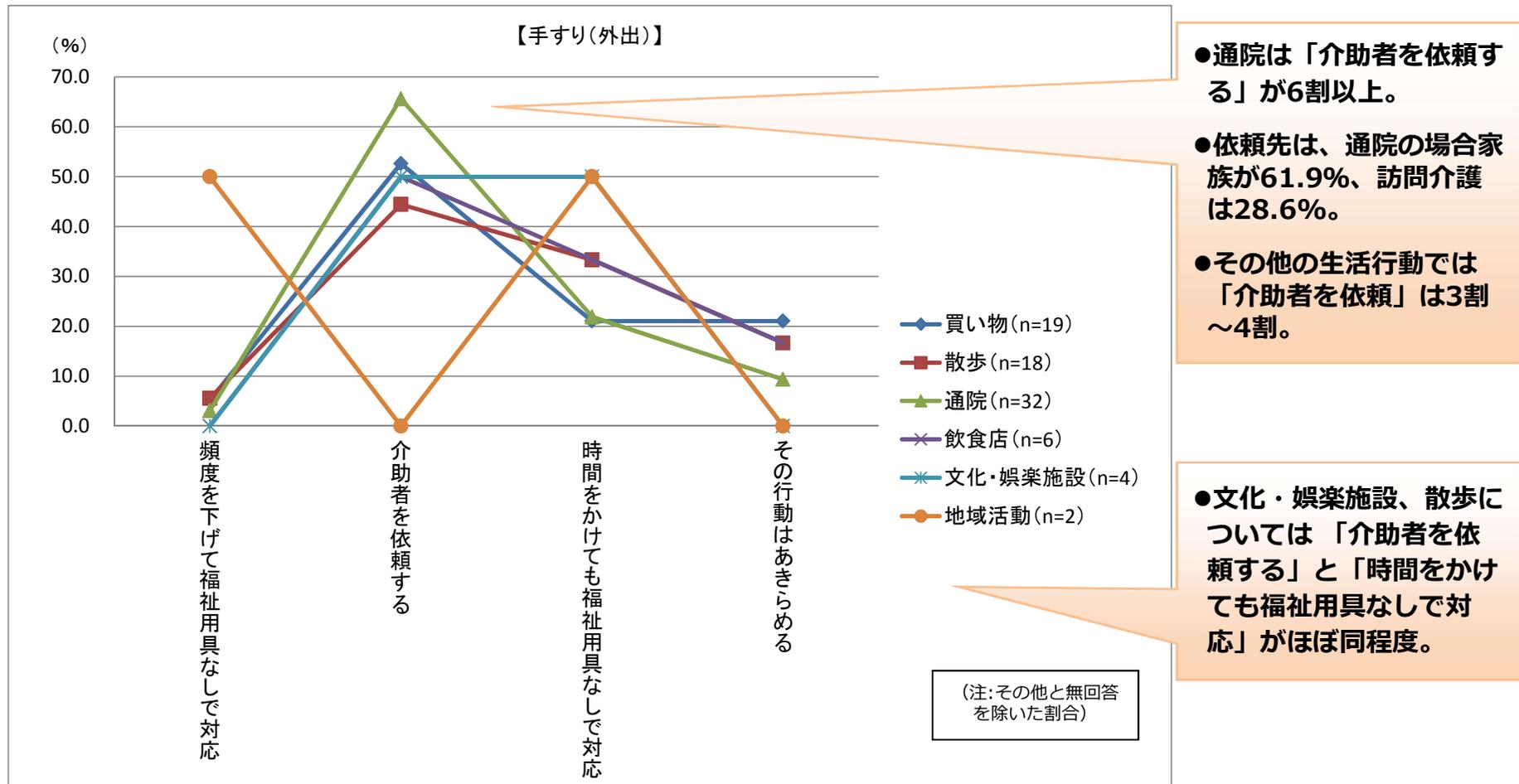
●依頼先は「家族・親戚」が約6割。

●時間をかけても福祉用具なしで対応も介助を依頼とほぼ同数。

●「洗濯」「調理」「掃除」については、時間をかけても福祉用具なしで対応する割合のほうが高い。

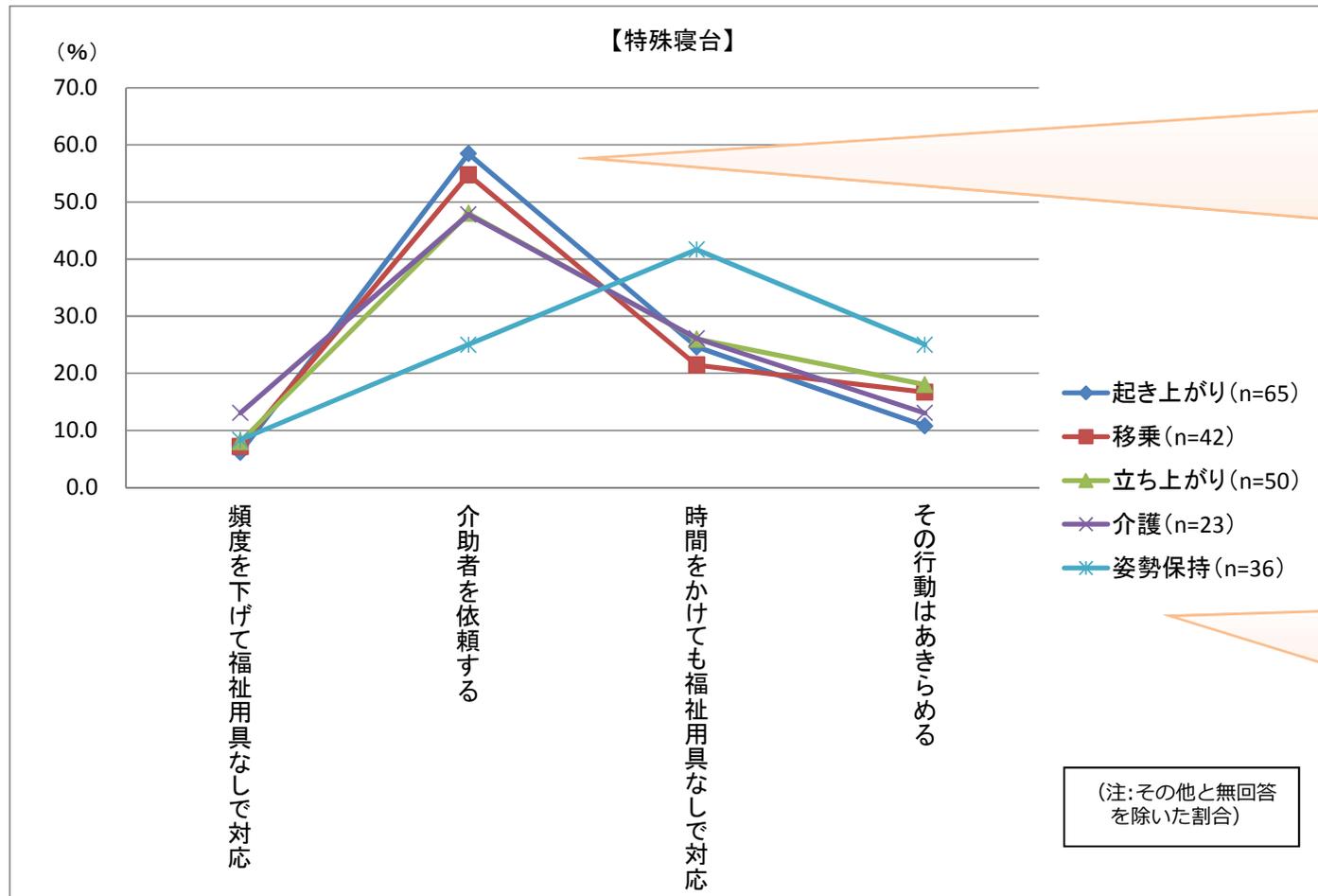
主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 手すり（外出）

- ◆手すりが利用できなくなったら、外出については、全体として「介助者を依頼する」と「時間をかけても福祉用具なしで対応」が多く、「その行動はあきらめる」の割合は他の用具利用よりも小さい。
- ◆多くの生活行動で「介助者を依頼する」が半数程度を占め、「通院」では「介助者を依頼する」が6割を超えている。
- ◆「通院」の介助の依頼先は、家族・親戚が約6割であった。



主な調査結果（3） 福祉用具が利用できなくなった場合の対応 特殊寝台（居宅内）

- ◆居宅内での生活場面において特殊寝台が利用できなくなった場合の対応は、「姿勢保持」を除いて、いずれも「介助者を依頼する」の割合がもっとも高かった。特に、起き上がり、移乗については5割以上であった。
- ◆「姿勢保持」については、「時間をかけても福祉用具なしで対応」の割合が約4割であり最も多かった。また、「その行動はあきらめる」も25%で多かった。



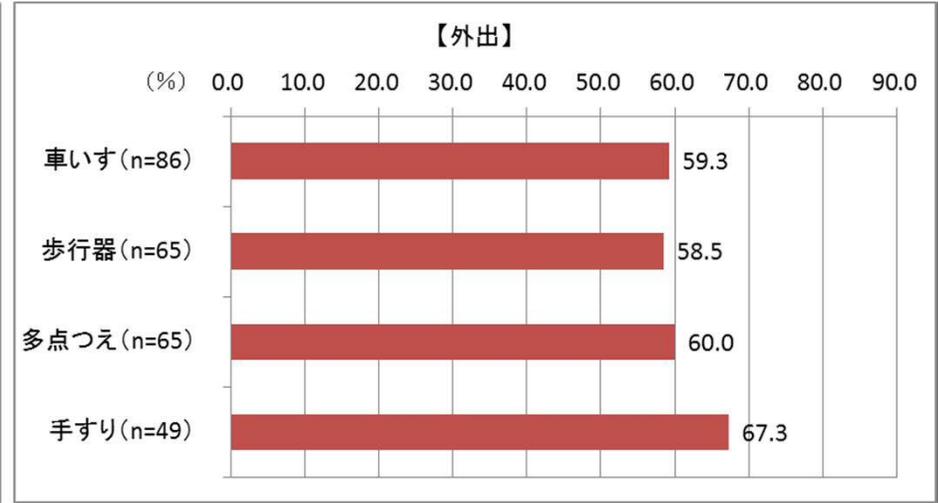
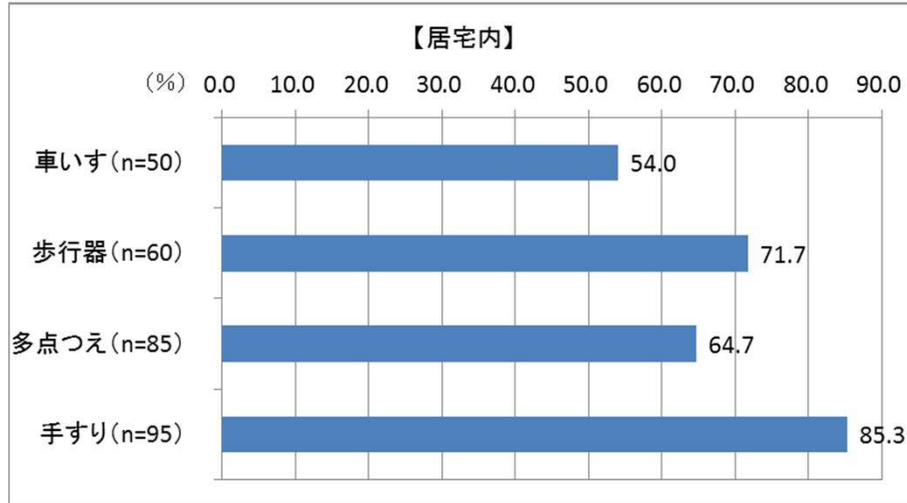
●「起き上がり」「移乗」については、介助者を依頼する割合が5割以上。

●依頼先は「起き上がり」は家族・親戚が6割弱が多いが、「移乗」「介護」は家族・親戚より訪問介護が上回っている。

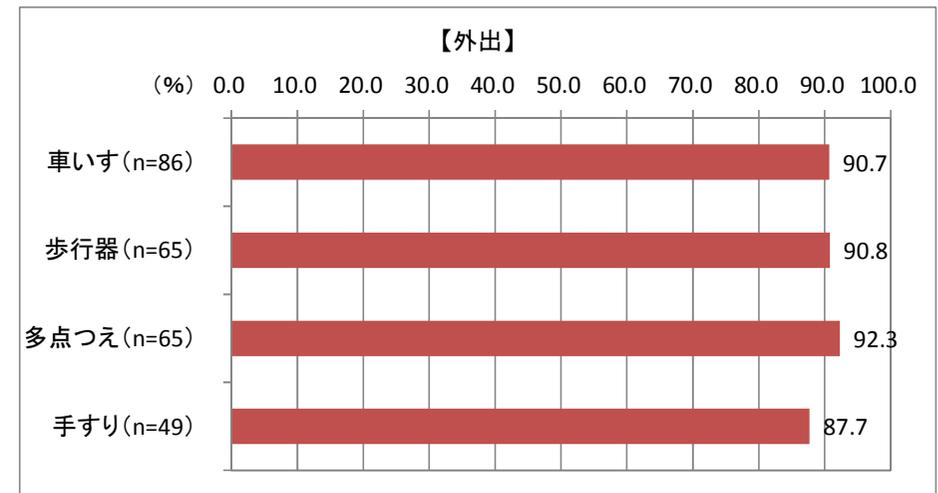
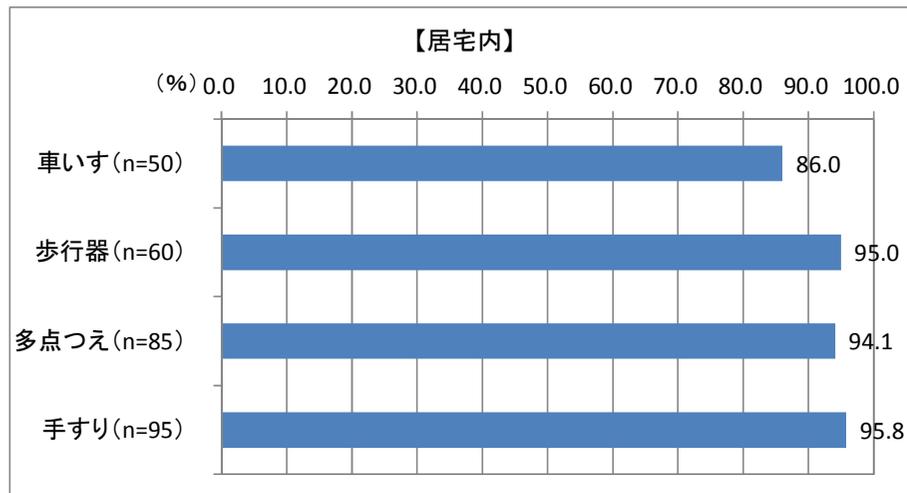
「姿勢保持」については、「時間をかけても福祉用具なしで対応」の割合が4割超で最も多かった。

主な調査結果（４）福祉用具を利用する前の転倒等の経験と、利用することによる不安や困難さの軽減について

利用する前の転倒等の経験



利用することによる転倒の不安や困難さの軽減



1. 車いす利用者より

- ・食卓に行かず、ベッドで食事をするようになる。
- ・トイレに間に合わず失禁するかも知れない。
- ・少ない年金生活での負担が増える。
- ・家族の負担が増えるので、家族は介護離職になってしまう。
- ・趣味活動が全くできなくなるので、意欲がなくなる。
- ・自宅の入浴はあきらめる。
- ・タクシー利用が増え、負担が大きくなる。
- ・ストレスが溜まり、認知症が進み、家族の介護負担が増大する。
- ・生きる意欲を失う。

2. 歩行器利用者より

- ・おむつを利用することになる。
- ・転倒の危険が高まる。
- ・トイレを介助に頼ることになり、プライドが傷つく。
- ・我慢することが増える。
- ・家中、四つん這いで移動することになる。
- ・施設入所することになる。
- ・ヘルパーの回数を増やさないといけない。

※重複回答は省略しています。

3. 多点つえ利用者より

- ・ 家族に両手引きしてもらおう。
- ・ トイレに行く回数を減らすために水分を摂らないようにする。
- ・ できる事が減り、余計に身体が動かなくなる。
- ・ 弁当、宅配サービスが増え、費用負担が大きくなる。

4. 手すり利用者より

- ・ 膝や腰に負担がかかり、トイレ内で転倒する。
- ・ コミュニケーションをとる機会が減少する。
- ・ 室内に閉じこもる。

5. 特殊寝台利用者より

- ・ 一人では移乗介助できない。
- ・ 介助者の負担増加がとても大きくなり、在宅生活は困難。
- ・ 布団に寝ておむつ利用になるので、床ずれ、病状悪化、意欲低下となる。
- ・ 夜間3回トイレに起きるので、介助負担が増えてしまう。
- ・ 夫婦共倒れになってしまうかも知れない。
- ・ リウマチの痛みが増大する。
- ・ 要介護状態がもっと進行する。
- ・ 独居では生活できなくなる。

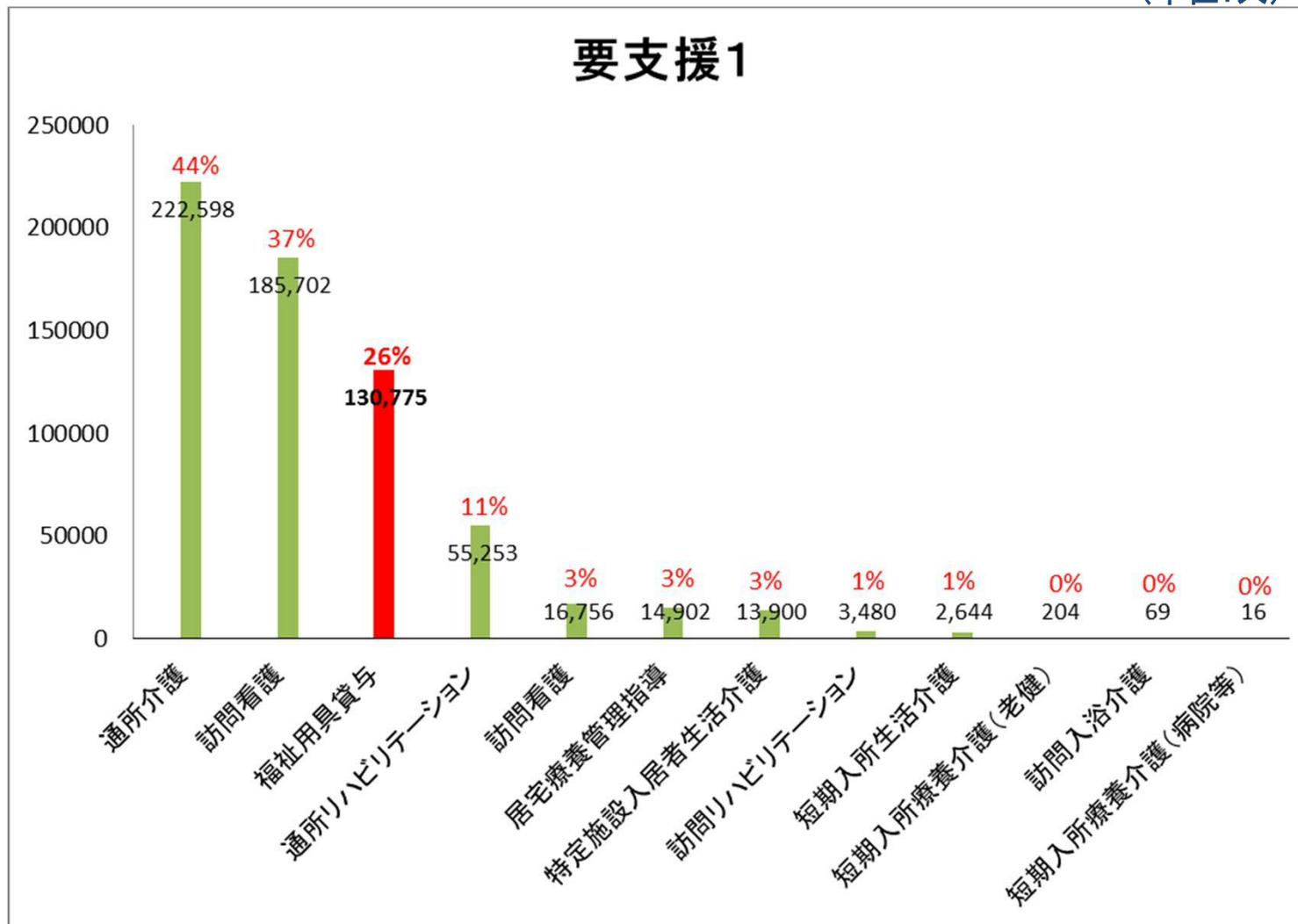
※重複回答は省略しています。



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) 📊 サービス別受給者数

(単位:人)



※赤字は受給者数全体に占める割合

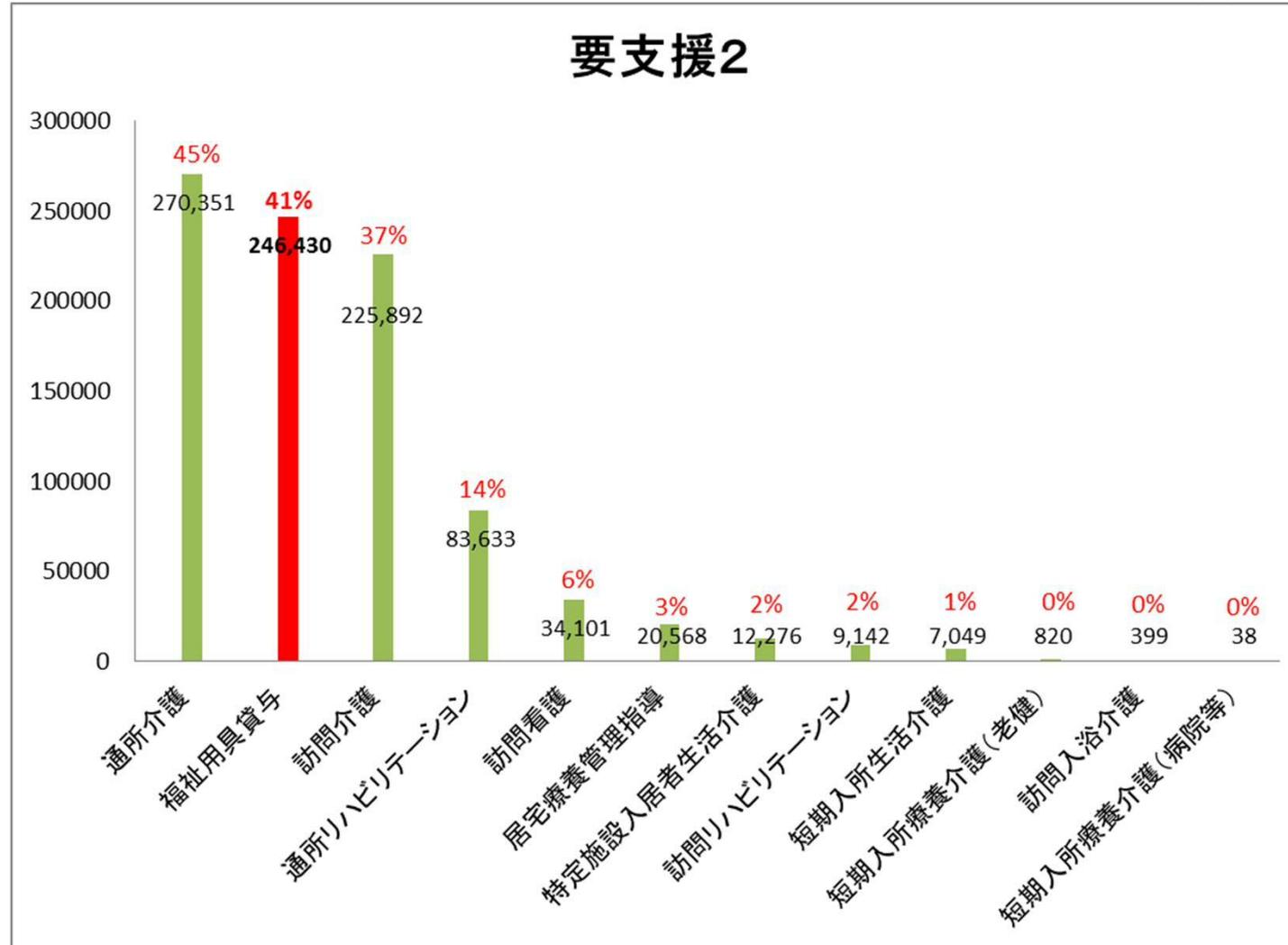
出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) サービス別受給者数

(単位:人)



※赤字は受給者数全体に占める割合

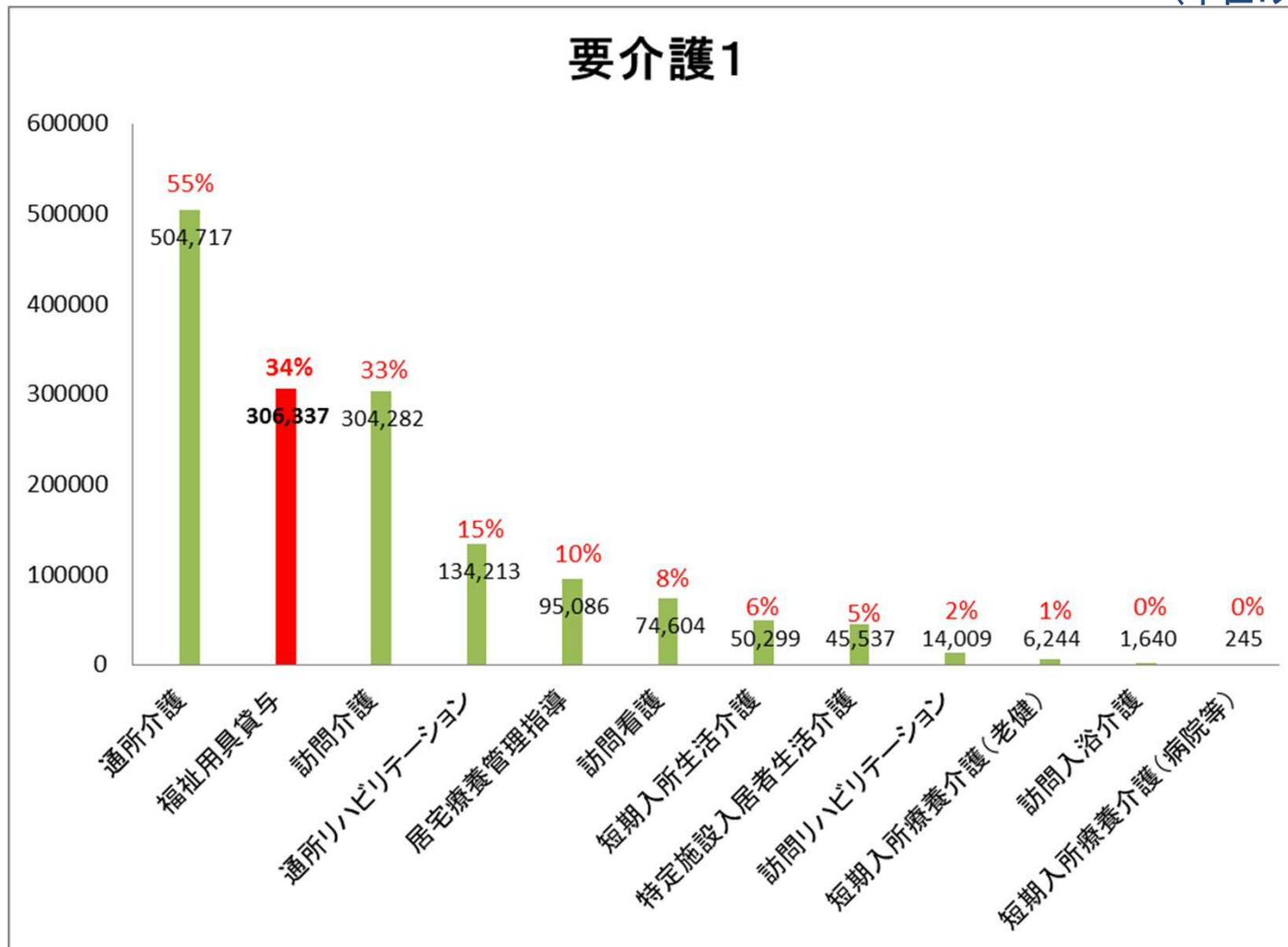
出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) サービス別受給者数

(単位:人)



※赤字は受給者数全体に占める割合

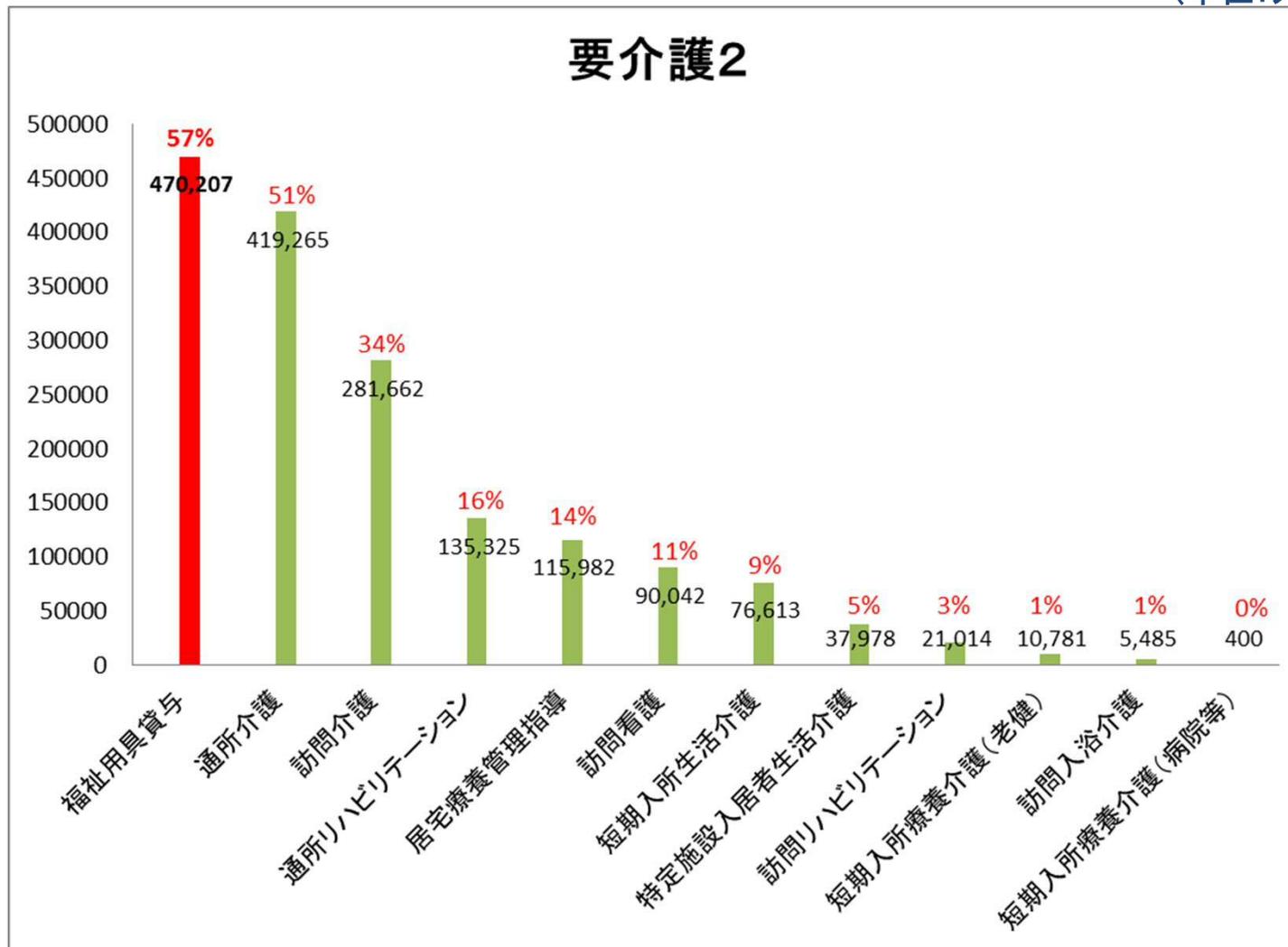
出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) サービス別受給者数

(単位:人)



※赤字は受給者数全体に占める割合

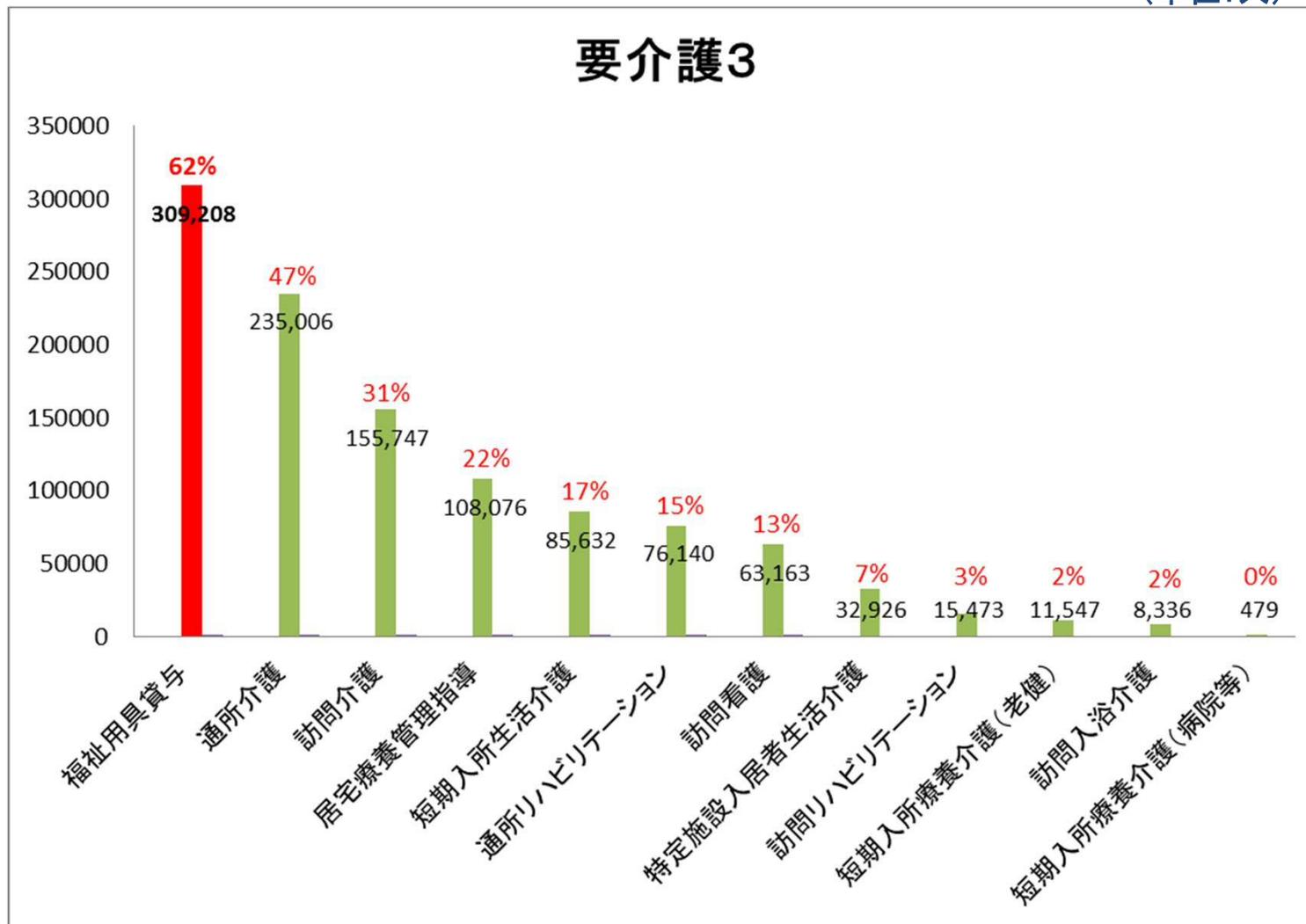
出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) サービス別受給者数

(単位:人)



※赤字は受給者数全体に占める割合

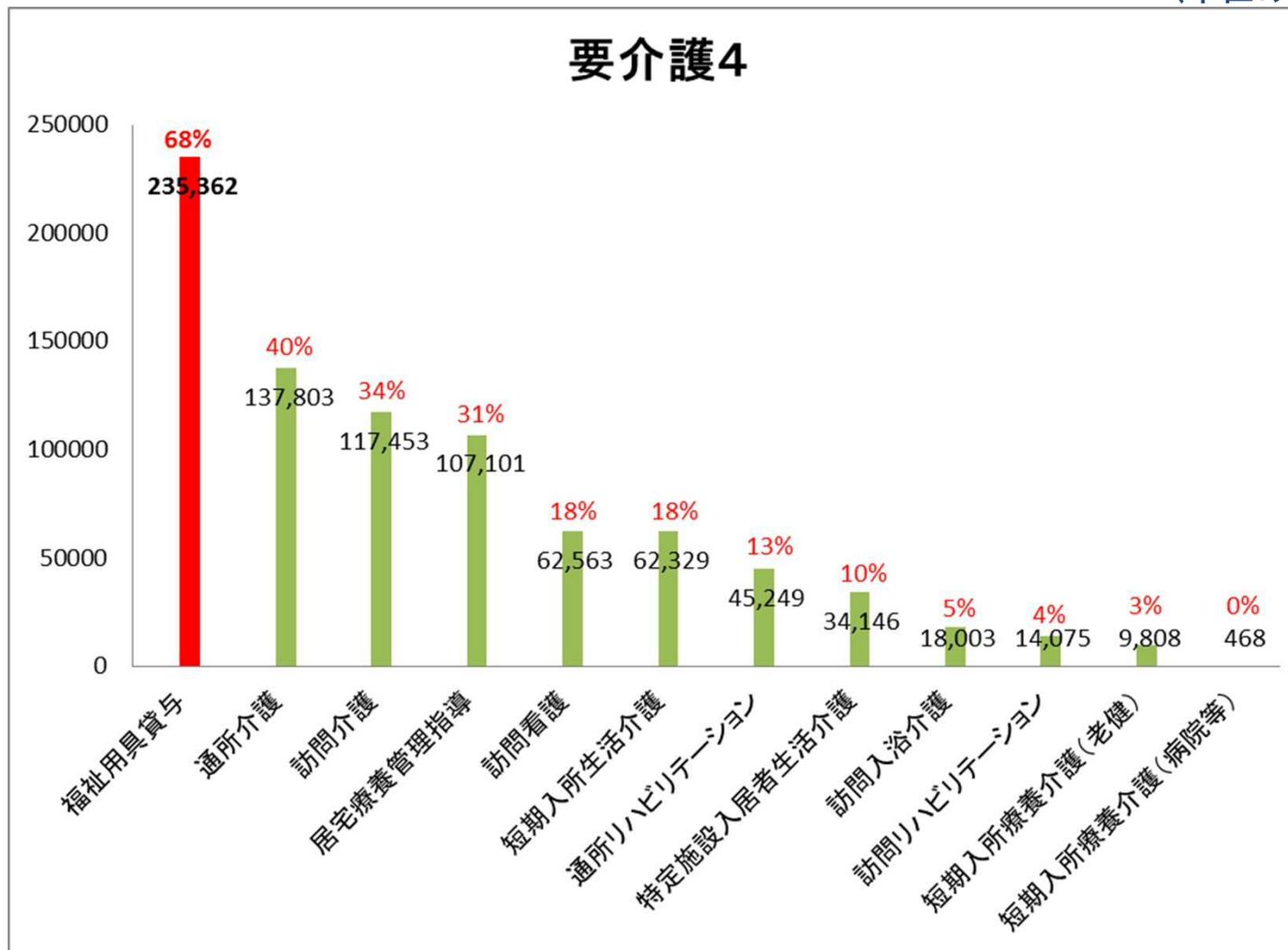
出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) サービス別受給者数

(単位:人)



※赤字は受給者数全体に占める割合

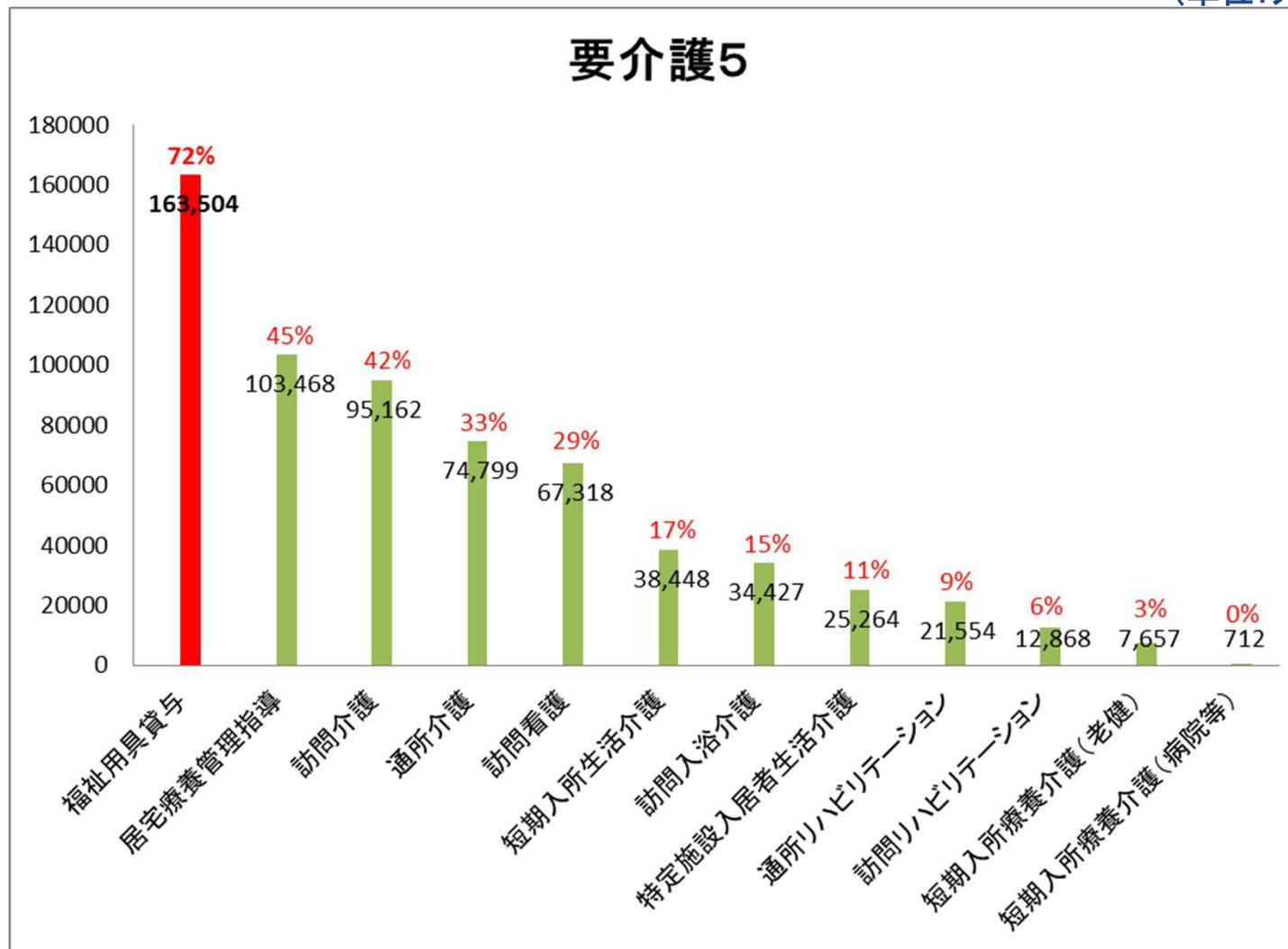
出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) 🚩 サービス別受給者数

(単位:人)



※赤字は受給者数全体に占める割合

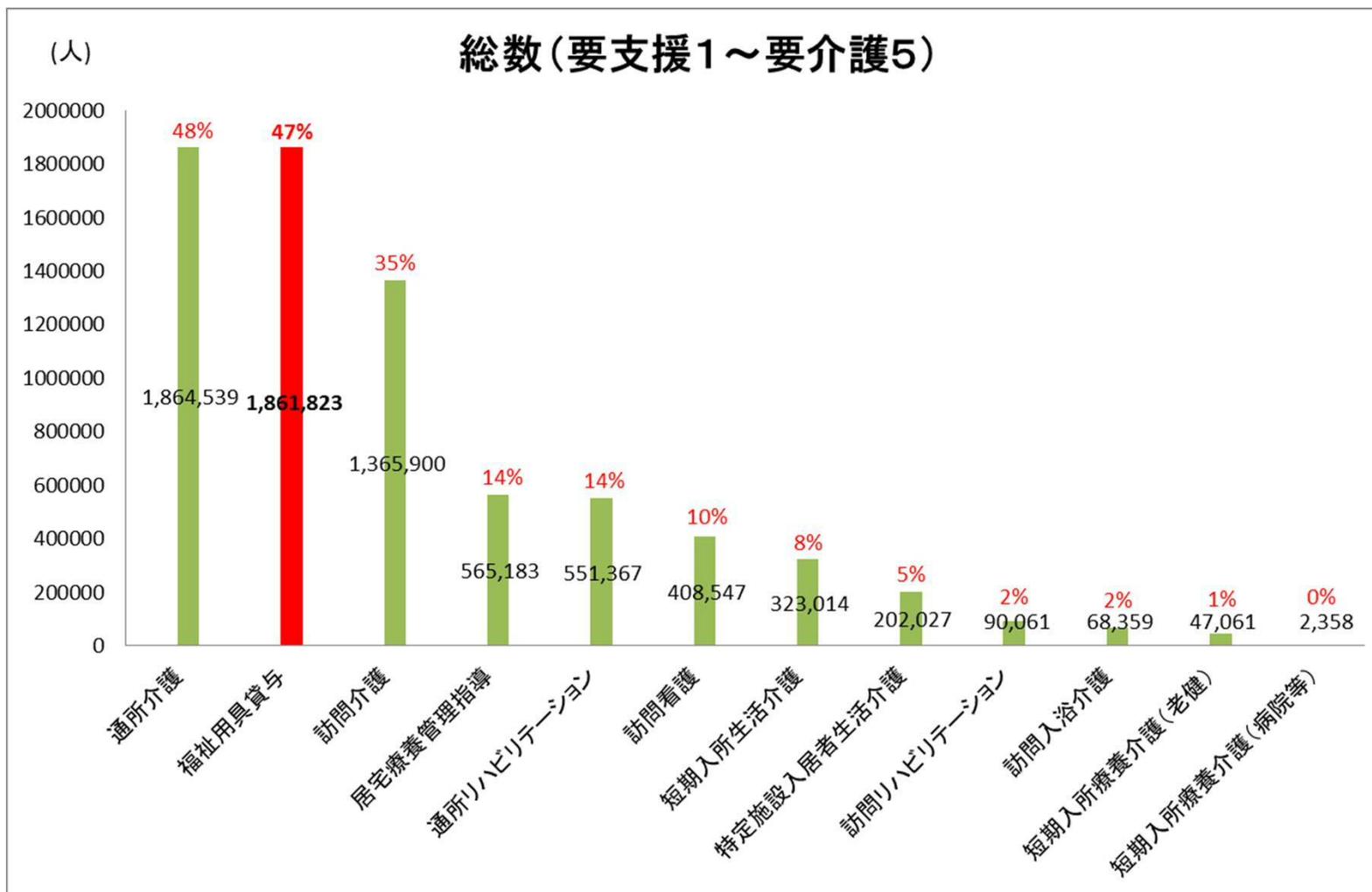
出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) サービス別受給者数

(単位:人)



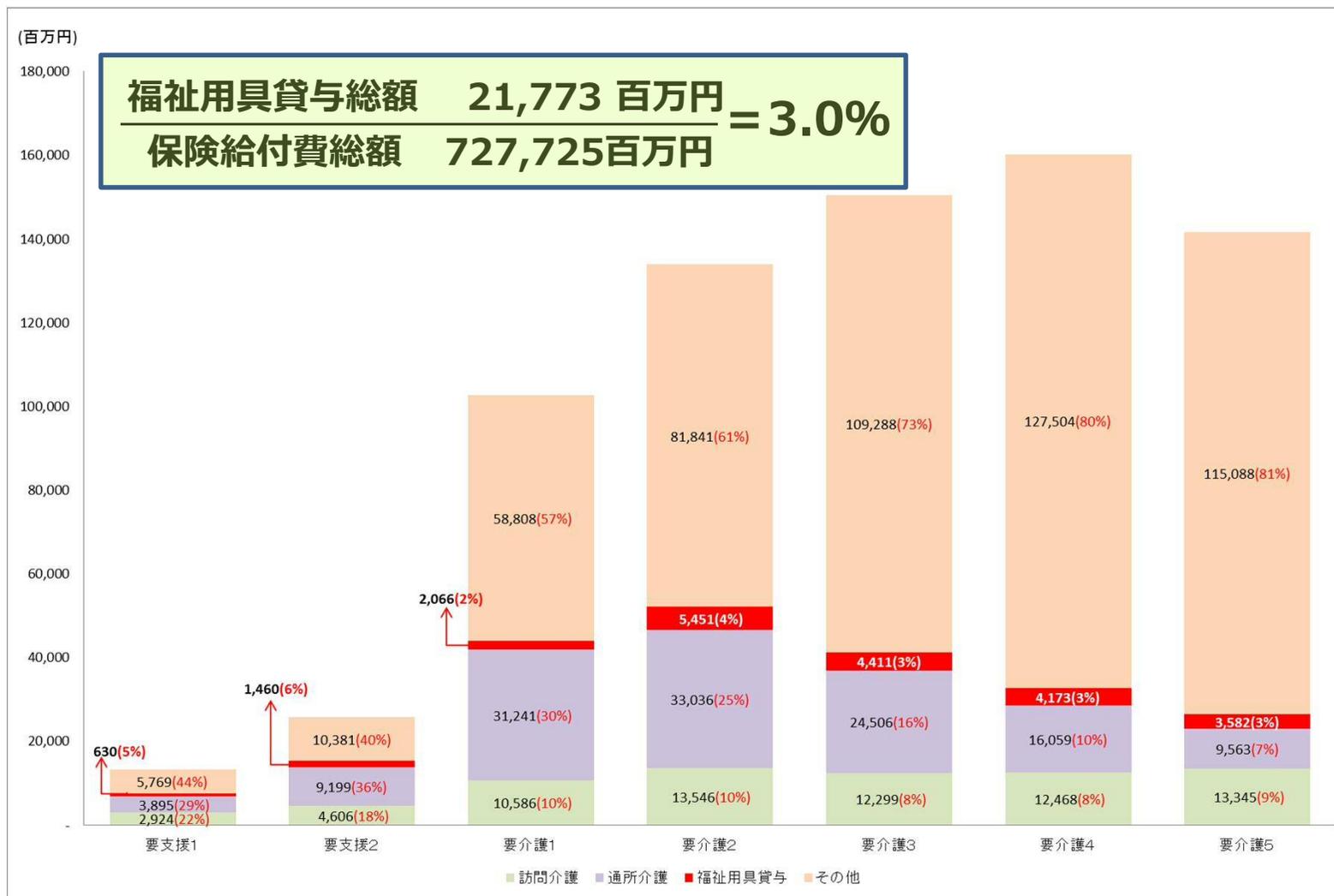
※赤字は受給者数全体に占める割合

出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



10月1日は「福祉用具の日」

(参考) 保険給付費(自己負担除く、月額)

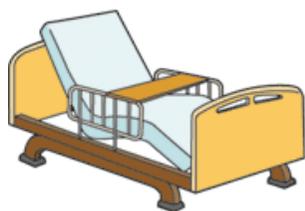


出典:厚生労働省 介護保険事業状況報告(平成28年5月分)



福祉用具サービスの特徴

- 24時間、365日利用できるサービスです。
- 高齢者自身の自立意欲を高め、介護負担の軽減ができるサービスです。
- 少ないコストで多くの方にご利用いただけるサービスです。
- 離島や山間へき地のような人的サービスが行き届かないところにも行き渡るサービスです。
- 「モノ」ではなく、機能を提供するサービスです。
- レンタル制度は、身体状況などにあわせて適切に変更できるサービスです。





10月1日は「福祉用具の日」

今後とも、「福祉用具の日」を
よろしくお願いいたします。



「福祉用具の日」推進協議会